

市民フォト

No.7

●昭和56年12月1日発行

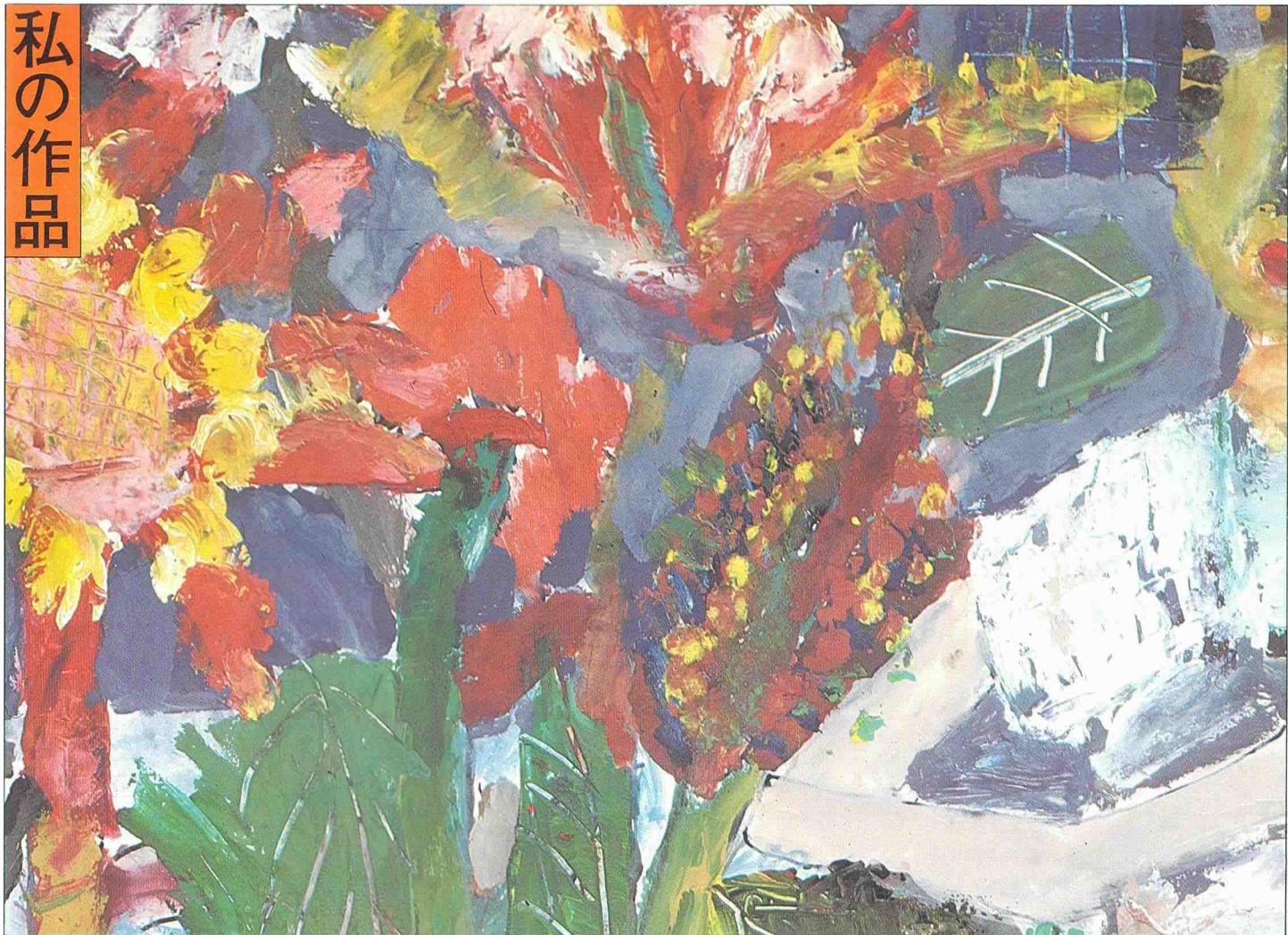
～もういくつ寝るとお正月。そんな歌を口ずさみたくなるような「たこづくり」の集い。カッターを使い、ボンドで止めて、先生の説明を聞きながら一生懸命作りました。

(人物は少年自然の家の坂上先生と吉野東小のみなさん)

鹿児島



私の作品



花

星峯小学校三年 加藤尚美

わたしたちの学校は、今年でたばかりの学校で、きれいな花がいっぱいさっています。

私は、とても花が好きです。

にはあります。夏休みに学校で絵

私の作品	もくじ
特集・働く女性たち	3
鹿児島の婦人労働者	4
私の選んだ道	6
学ぶ	7
人物登場(石堂清貴さん)	10
ぼくらの施設めぐり(青果市場)	11
飛んで20年(郡元 紫原)	12
市民のひろば	15
奥様こんにちは(石川豊子さん)	16
あなたのフォトサロン	17
妙円寺詣り	18
西鹿児島駅	20
わたしの散歩道(原良團地)	22
カメラトピックス	23
わたくしの店(木竹工芸品・かわさき)	24
あの店この店(木竹工芸品・かわさき)	25
市立美術館(熱砂の想)	26
	27
	28
	29
	30
31	

の勉強がありましたので、花を終
にすることにきめ、何回も花を見
にいって教室でかきました。

色をつけるとき、自分の考え方通りの色がでないで、くしんしまし

もくじ

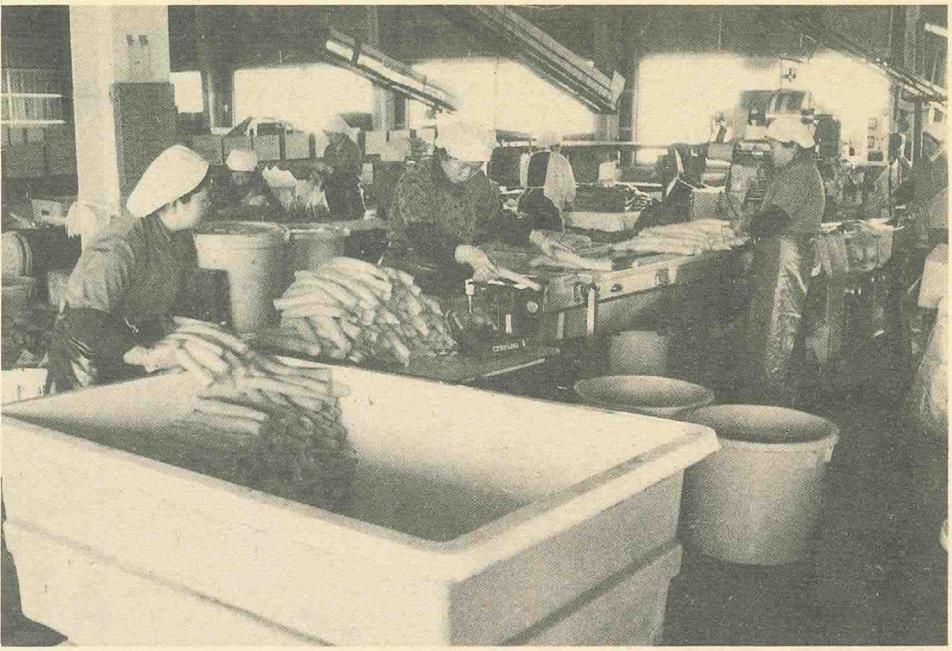
私の作品
特集・働く女性たち

働く女性たち

特集

昔、職業婦人と呼ばれ特別視されたが
いま、全就業人口の四〇%を占める

女性の生き方も多様化してきたといわれます。家庭に、仕事に、趣味にとその能力は發揮され、自分のライフスタイルをつくり出しています。今回は、鹿児島の働く女性の姿とその周辺を特集しました。



鹿児島の婦人労働者

家にいるよりは
外に働きに出たいと思う。

化を見るとき、はなやかにみえる多種多様な職場への女性の進出も手離しでは喜べないようです。そこには女性の能力の活用の場が広がる一方で、不安定雇用労働者(パートや臨時)として底辺に押しやられている女性の労働環境の厳しさもうかがえます。

ど女性の割合は少ないようです。

第四に、年齢別みると、女子の中高年者、有配偶者はますます増え続けています。十五年前、二対一であった二十五歳未満の人と四十歳以上の人との割合が現在では逆転して一対二となっています。

また、有配偶者は女子就業者の六割を占めるにいたっています。

第五に、雇用形態では常雇用の構成比が年々減少し、パートを中心とする臨時雇用が増えています。

こうした婦人労働者の構成の変化をみると、事務、販売、専門的、技術的職業での女性増加がめだっています。特に、事務では既に男性より女性が多く、また、専門的、技術的職業でも女性が過半数を制するのは時間の問題といわれます。

第一は、第三次産業に女子労働者はめざましく、昨年十月の国勢調査によれば、▽市内の全就業者数二二七、一〇〇人(二〇〇%)▽男性の就業者数一三一、六〇〇人(六〇%)▽女性の就業者数八五、五〇〇人(四〇%)市内の就業者十人のうち四人は女性となつておらず、女性の職場への進出が盛んなことが、数字の上にも表れています。しかも、これは全国の女性就業者の三四・九%を上回っています。しかし、その内容も細かに見ていくと、いくつかの特徴があげられます。

ぎません。また、八〇年四月入社の女子の初任給は七万三千二百円(中卒)から十万八千七百円(大卒)ほどですが、これも男子との間に格差(約五・一〇%)がつけられています。仕事をする能力が変わらない同学歴の初任給においても、男女格差があることは大きな問題といえましょう。

これは、何も日本だけに限ったことではなく、外国でも起こっている問題です。ただ、発達した資本主義国では、ほぼ二〇%台から三〇%台の格差となっていることからみて、日本の五〇%台は他の国に比べ、最も大きい男女差別といえましょう。そして、その差別は募集・採用から退職までのあらゆる雇用の差別が賃金に集中的に表現された結果でもあるのです。

「女は家庭」といつたのは昔の人だったはずですが……

最近の婦人労働者(特にパートの場合)の就業動機を「第三次産業雇用実態調査」の結果からみると、「生活費を得る」「生活費のたしにする」が六七・九%と最も多く、また「住宅ローン返済」「子供の学費」「老後の貯金」などを加えると、何らかの生活費を得るために働くというのが大勢を占めています。一方、「家にこもっていたくない」「能力や技術を生かしたい」などが合わせて四五・三%もあることは、女性が社会参加し、自分の能力を生かした志向を明確に読みとることができます。

三つの回答を合わせると、八五%に達し「男女とも職業を持ち、家庭の責任も分担」は三%にすぎません。この中で、女性が職業をもつことについて「男は仕事、女は家庭」との考え方については一七%が当然、一九%が現状ではやむなし、四五%が「女性も職業を持つよいが、家庭のことには責任を持つべき」と答えています。

したアンケートの結果わかつたことです。この中で、女性が職業をもつことについて「男は仕事、女は家庭」との考え方については一七%が当然、一九%が現状ではやむなし、四五%が「女性も職業を持つよいが、家庭のことには責任を持つべき」と答えています。

す。これを所定内給与額別労働者一人当たりの現金給与総額は十五万八千八百三十五円、男性を一〇〇%とするとき、五四・九で約半分で

ちょっと気になる他人の懐 男女の格差。

全国平均では、一九七九年の女性一人当たりの現金給与総額は十五万八千八百三十五円、男性を一〇〇%とするとき、五四・九で約半分で

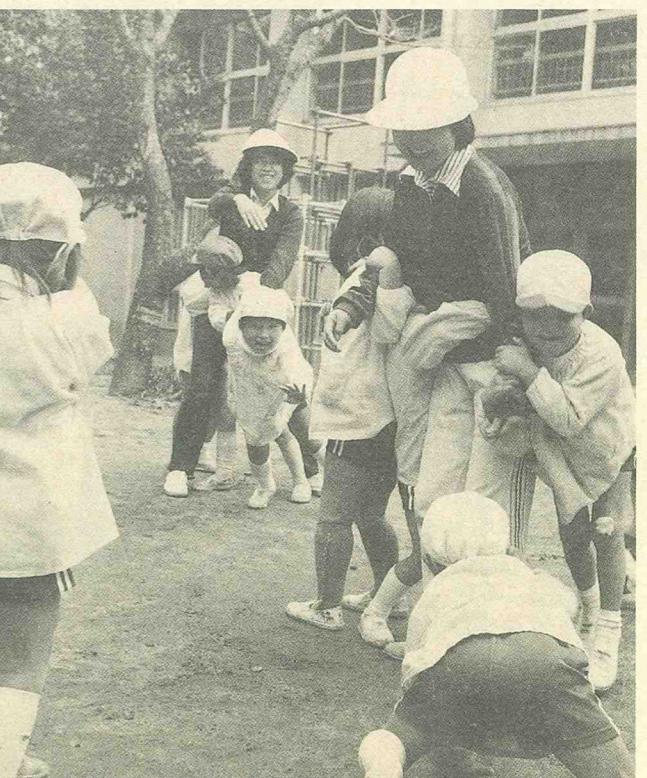
す。これを所定内給与額別労働者一人当たりの現金給与総額は十五万八千八百三十五円、男性を一〇〇%とするとき、五四・九で約半分で



「女は家庭」が鹿児島の男性大半の意識、それも若い男性ほど強い。

しかし、まだまだ男女の役割に関しても固定観念が強いようです。

ともあれ、鹿児島の働く女性にとつて、自己の能力を思いきり發揮する雇用の場は、まだまだ限られているといつても過言ではありません



私の選んだ道

仕事を持つてゐる女性は、ちよつと素敵でした。

「男が一生を賭ける神聖な職場だ、女性は入れない」と発言して物議を醸したのは、つい何年か前の司法研修所の教官でしたが、鹿児島でも、あらゆる分野に女性が進出しています。裁判官、新聞記者、テレビディレクター、舞台照明家など、男性の職場と思われているところに女性の姿を見ることができます。「男尊女卑の鹿児島というけれども、思ったより男女同権意識は浸透している」という意見も聞かれます。

そこで、活躍する「鹿児島おごじょ」にインタビューをしてみました。

(掲載は五十音順)

株式会社迫田・社長 ■迫田 文子さん(長田町37-22)



折田タクシー・運転手 ■肥後 ヨネ子さん(南郡元町28-2)

昭和十九年にご主人が都城市で木工業をはじめた。それが、人の勧めで焼け野原の鹿児島市にやつて来て、現在のところで家具の製造販売をしたのが、この会社のはじまり。タンスをかつぎ、コモで離島送りの荷造りをし、トラックでの配達にも助手席に乗つて出かけた。裸一貫でスタートした事業も拡張された昭和四十五年十二月

何の不足もない主婦業が、国鉄勤務のご主人の死でハンドル人生に変わった。昭和四十年のことである。職業安定所の紹介で自動車免許を取つたが、味噌・醤油の会社に勤めている時、追突されてもチ打ちは症に。悪い時には重なるもので、息子さん夫婦の家が失火で焼失。借金を返すのに男並みの給料をもらえるのはタクシー運転手

がいいと、車の一種免許に挑戦。女性は安心されます。毎日が楽しめたせいか、運動神経は発達していきで、三回目で合格した。

「女の運転手だと男性は珍しがり、女性は安心されます。毎日が楽しめたせいか、運動神経は発達していきで、三回目で合格した。

女性なので、勤務は朝八時から夜九時まで。それでも主婦の雑事で一日に五・六時間の睡眠。休みで張り合があるんですが、酔った客を乗せて目的地に着いても起きてくれなかつたのには大弱りしましてね」

月、ご主人が亡くなられた。早口の鹿児島弁。笑い上戸で話題も豊富。順調に今日がある訳ではない。七軒八起、振り返ると大変なのだ、がんばらなきやと努力してきたんです」

困難にぶつかると、当座は考えがいいと、車の一種免許に挑戦。女性なので、勤務は朝八時から夜九時まで。それでも主婦の雑事で一日に五・六時間の睡眠。休みで張り合があるんですが、酔った客を乗せて目的地に着いても起きてくれなかつたのには大弱りしましてね」

睡眠不足は仕事にこたえるからと薬代わりに焼酎のダレヤメ。それも、つまみに果物か、お菓子を傍らに飲む。

女性なので、勤務は朝八時から夜九時まで。それでも主婦の雑事で一日に五・六時間の睡眠。休みの日は午前中横になり、午後からお孫さんとする買物が楽しみの様子。

福山理容所 理容師 ■福山 たか子さん(小川町1-21)



児玉建築設計事務所・一級建築士 ■吉永 甫子さん(吉野町17-7)

床屋家業三代目。昭和十九年にこの道に入ったのですから、年がわかるでしようと笑う。学校を出て、お盆や暮れに父親の手伝いをしているうちに、だんだんおもしろくなつて今日にいたつた。

「ハサミと櫛を持つて、簡単に金

わんばかりに」。

おっしゃいます。

髪型も流行があるので勉強が大変だ。講習会も年二・三回あり、絶えず出席して研さんを積む。「ロングが流行たが、今は少ないです

ね。最近ではパーマが多いみたい。髪型は人柄、その人の職業を反映しているようで、今でも決まっていいるみたいです。年配の人は一定

しているが、若い人は注文をよくしているが、若い人は注文をよく

するだけでも、いろんな人がいるみたいですね」

似合いの髪型を探してあげること

たりで、おもしろい仕事とのことです。

小さな頃は絵描きさんを夢見、部屋の模様替えが好きな女の子だった。向こう見らずで、走り出してから気がつくタイプと自己分析。高校進学の時、男性が圧倒的に多い鹿児島工業高校の建築科を志望したのがこの道へのスタートライン。

「住宅で言うと、この土地にこんな要求は無理と、聞けば聞くほど

教育学部保健体育科で衛生・公衆衛生学の講座を担当。小・中学校の保健体育の時間には公害、健康、環境などの授業が行われる。その保健の分野で、川の水が汚れることが人々の環境にどのような影響をもたらすかを、子どもの時から知識を持たせ、新しい環境づくりをしよう」と夢は大きい。

鹿児島大学助教授・医学博士 ■渡辺 紀子さん(城山二丁目37-18)

「アイトがわきます。こんな時は、寝っていてもアイデアが浮かんできて、それが毎日だったらもつと素晴らしいのにね」と笑う。そういう

「この道何年ですか」と質問した

「一級免許を取れるぐらいの年数だから」と、ころころ笑つて答えた。小さなことでミスをしたり、施主と意見が食い違うのがこたえる。浴室の電気の位置を指

示しようと思つていたら、工事が早く済んでいて、窓際に付ければ建築現場の足場を歩いて指示する

「私は、住まいは住み手の主婦のセンスで決まるとも。」

「安全帽をかぶり、安全帯をはまではわからない。わかつた時は遅いのです。公害について、日本は貴重な体験をしたのですから」

「私は、住まいは住み手の主婦のセンスで決まるとも。」

「私は、住

学ぶ

年甲斐もなく受講しましたが、若い人たちと楽しく付合えました。

教養講座は花ざかり

何のために四十五歳まで生きてきたんだろうか、という発想は現代の女性に限らず、昔の女性も持つていたと思います。けれども、そういう反省点にたつて「学ぼう」というふうに、自分の欲求が形を変えてきています。

昔風に、生花、料理、裁縫に茶道といつたお稽古ごとから、今日では、ジャズダンスや絵画をはじめとする多種多様の教養講座に多くの女性が学んでいます。

このことは、自分がある程度の義務教育なり、高等教育を受けて社会変貌の中で、子どもを育てるながらでも、「自分が受けた教育だけでは足りない」ということで、もう一度何か学び直そうとか、少しでも新しい情報を入れて現代にマッチした生活とか、ものの考え方とか、そういうものを求めようとする願いの表れではないでしょうか。

楽しみをみつけました

みなさんは鴨池の市勤労婦人センターをご存じですか。働く女性のために設けられた、ちょっと楽しい館です。ここで開かれている教養講座の受講生の感想をご紹介します。

×

×

×

×

×

芭翁と同道して、みちのくを旅しているような……。いつか実際に行つてみたい気持ちになります。熱のこもつた講義に眠気もふつとび、楽しいでした。芭翁の博識ぶりに感心し、俳句の心も少しだけ、受講できたことを感謝いたします。

(古典文学講座・勤労婦人・32歳)

まさに家庭で手軽に作れるし、休むことが他の人の負担になること

がわかり、共同体の一員としての責任からも休めなかつた。このテキストをみるたびに、講座を思い出すことでしょう。

（3分間クッキング講座）

勤労婦人・27歳

鴨池の市営プールの隣に、総工費一億五千万円をかけて昭和五十五年の四月にオープンしました。建物は鉄筋コンクリート二階建て

まさに家庭で手軽に作れるし、休むことが他の人の負担になること

がわかり、共同体の一員としての責任からも休めなかつた。このテキストをみるたびに、講座を思い出すことでしょう。

式典後の実技発表では、講座生

らが日舞や美容と健康体操、レクリエーションダンスなどに日頃の勉強ぶりを披露。盛んな拍手の波に、踊り終わつて、ほつとした様子の講座生もみな満足気。

特に人気を呼んだのは、国際障害者年にちなんで行われた不用品

のチャリティーオークションとバザー、それに、講座生がセンターで勉強した技術を生かして作った一など、美容体操のための器具も備えつけられています。このほか

ました。

うと、一ヵ月前から企画、盛大な文化祭となりました。この日、会場にはセンターの利用者や地域の人々約千人が集い、終日にぎわいました。

施設の特徴は、託児室と学童学習室があり、小さな子どもをお持ちのお母さんも安心して学習したり、スポーツを楽しむことができます。また、軽運動場には広いフロアがあり、ベルトバイブレーターなど、美容体操のための器具も備えつけられています。このほか

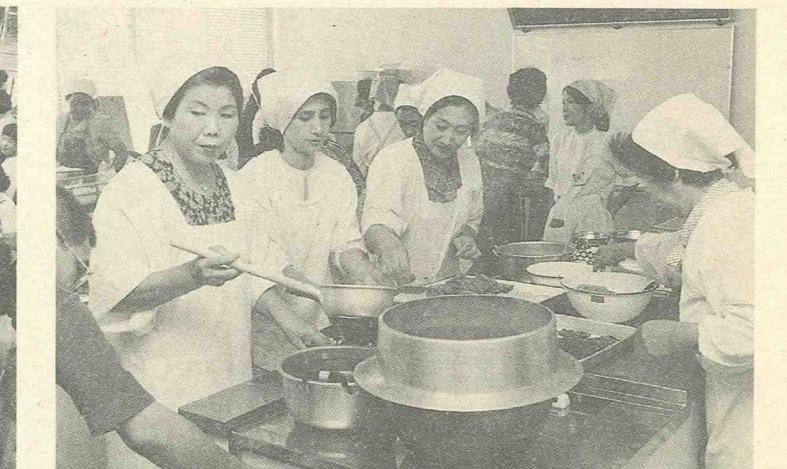
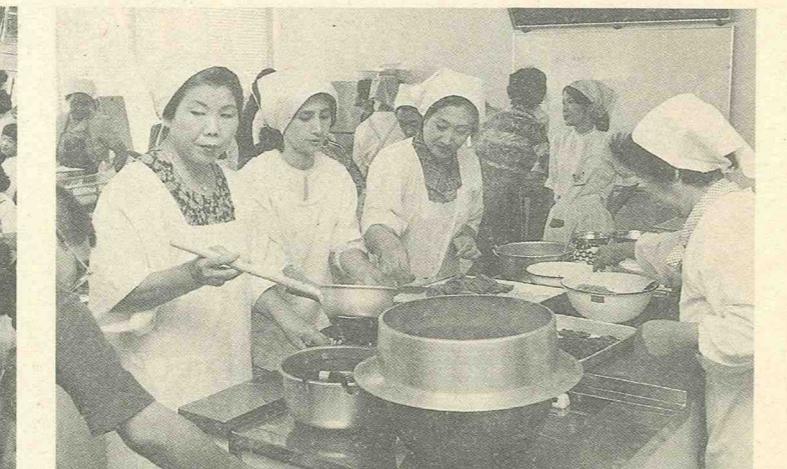
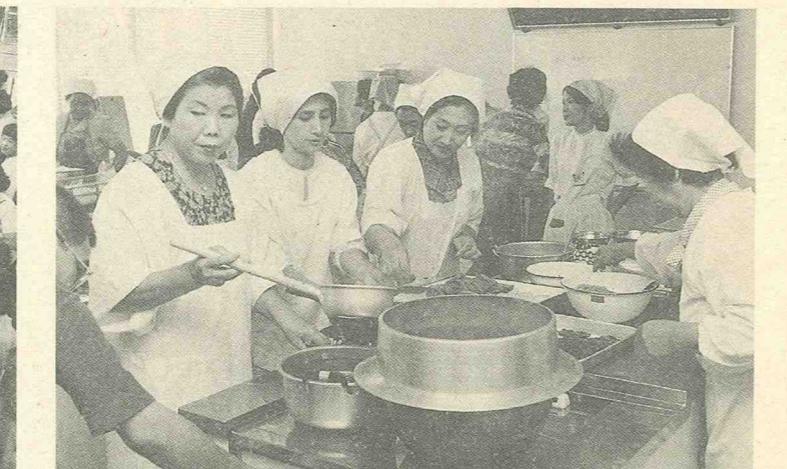
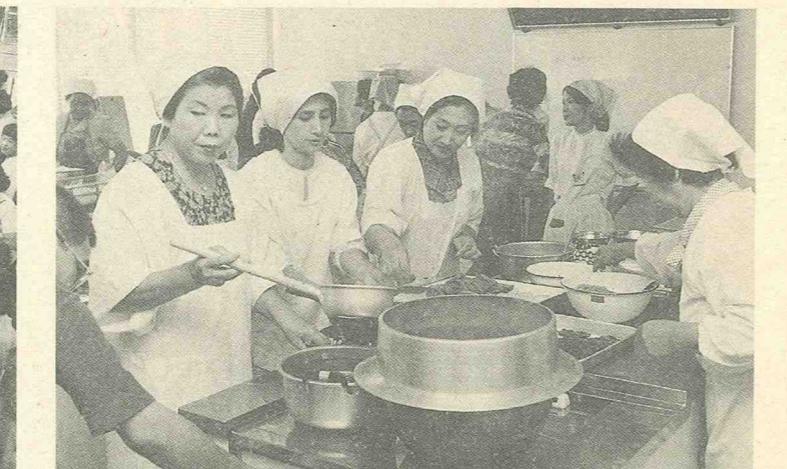
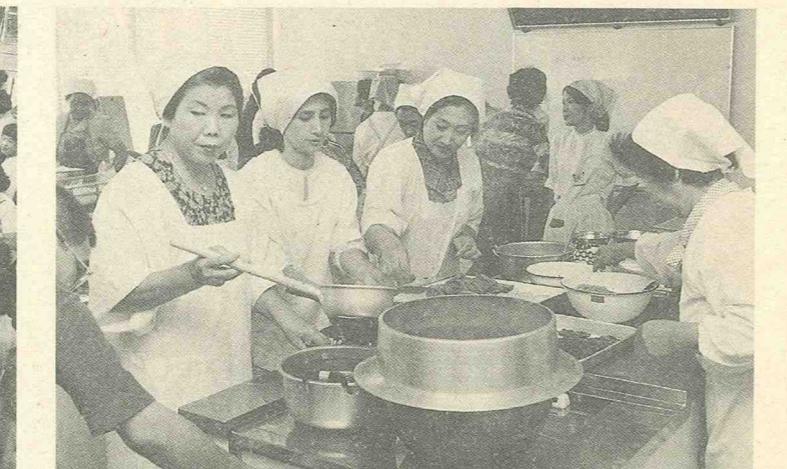
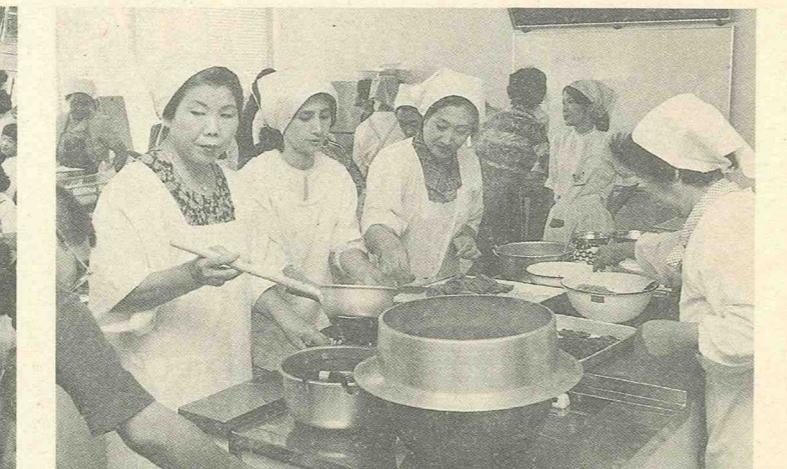
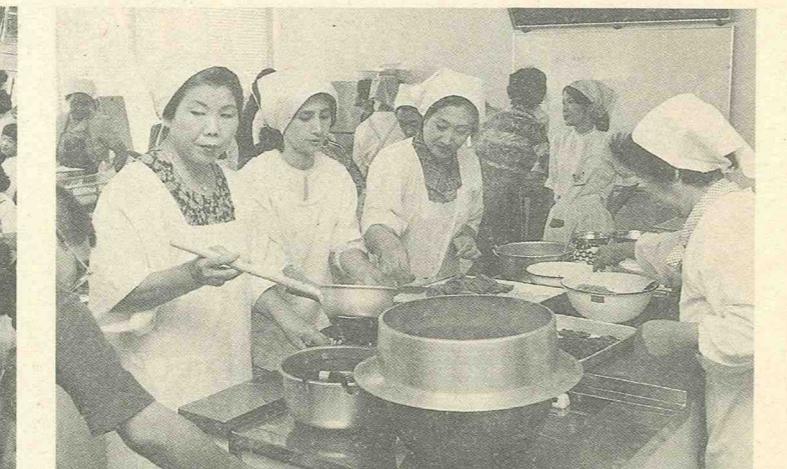
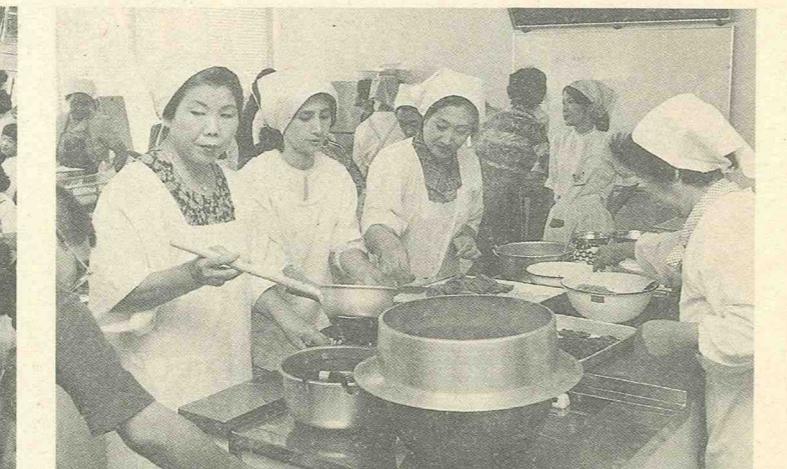
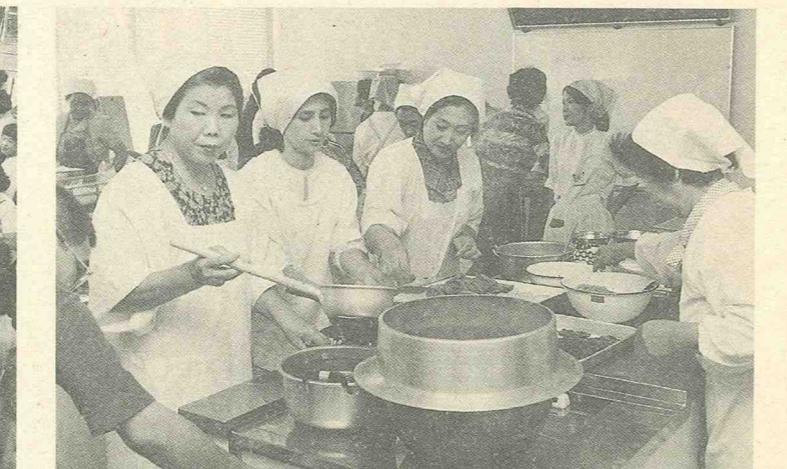
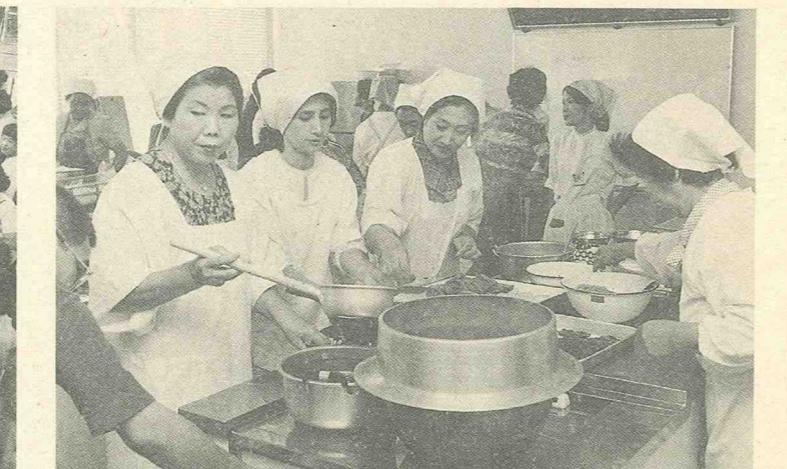
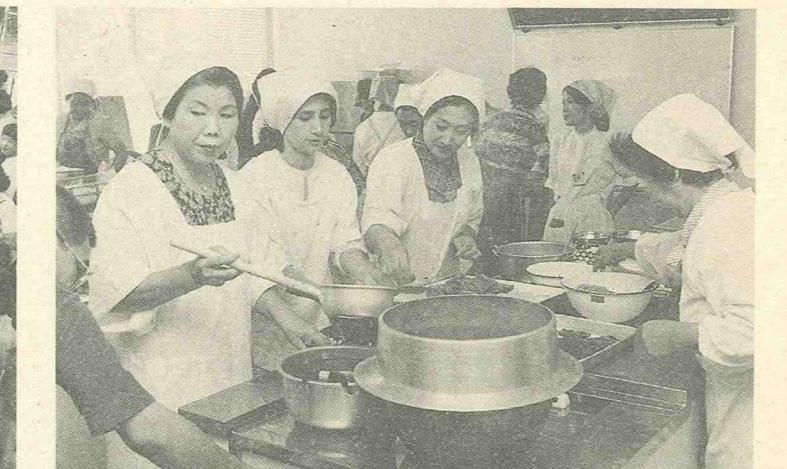
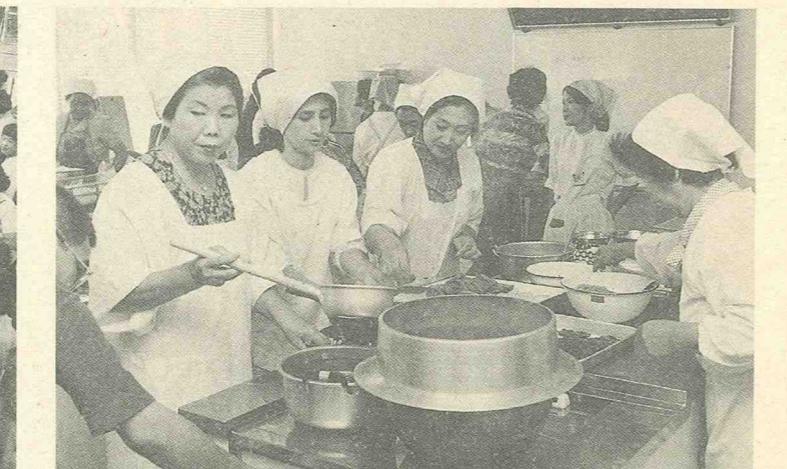
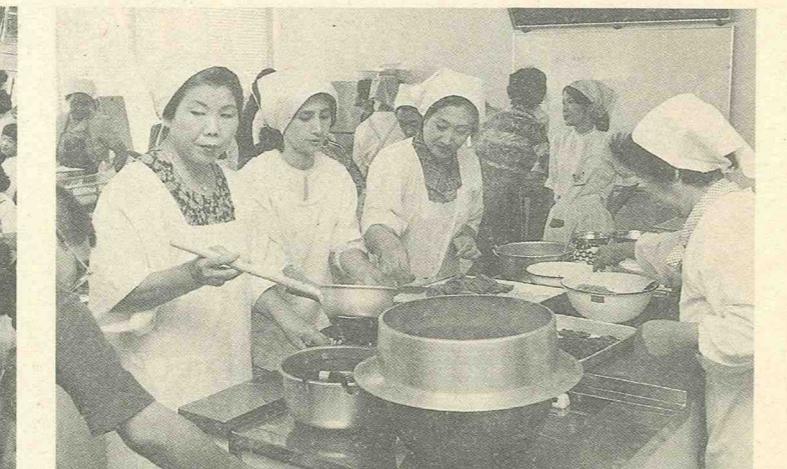
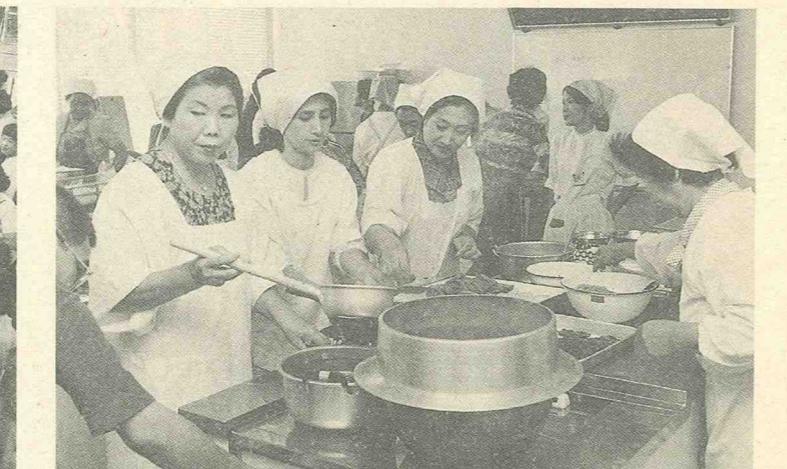
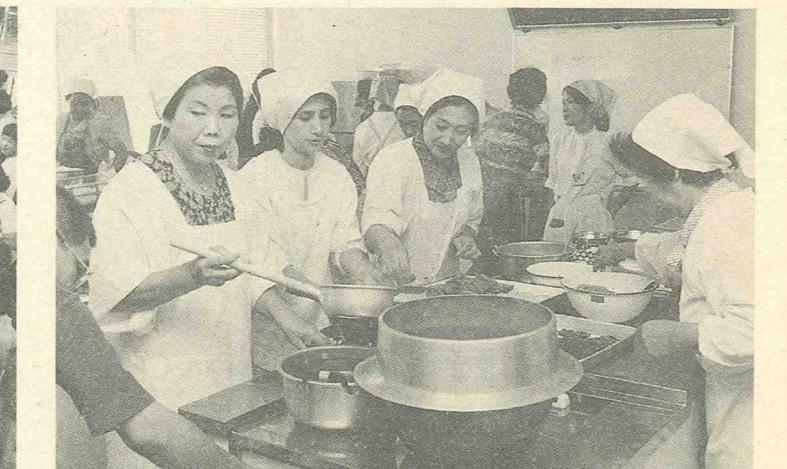
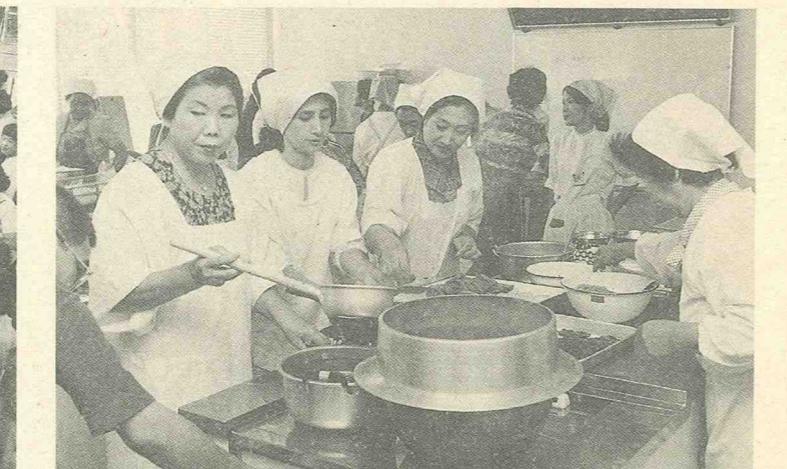
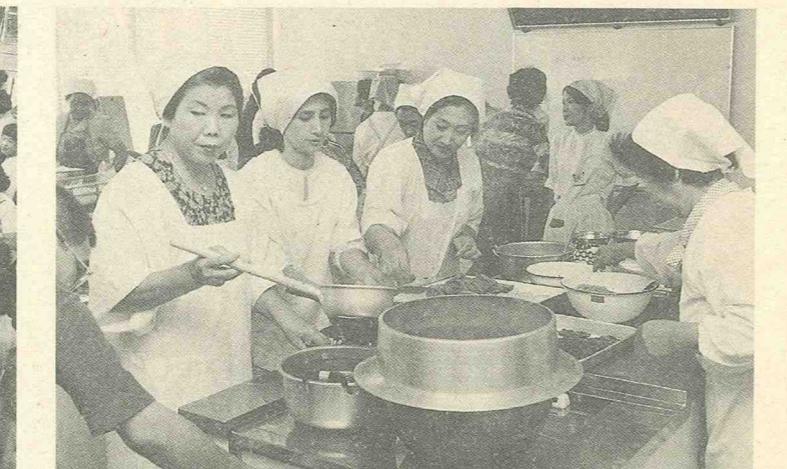
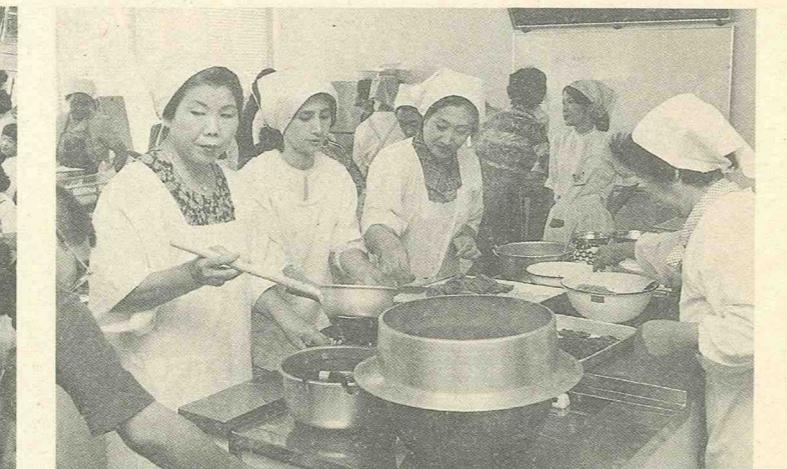
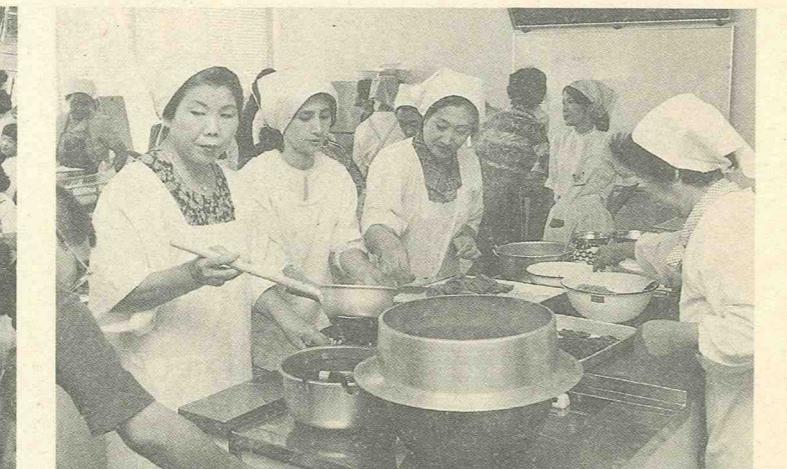
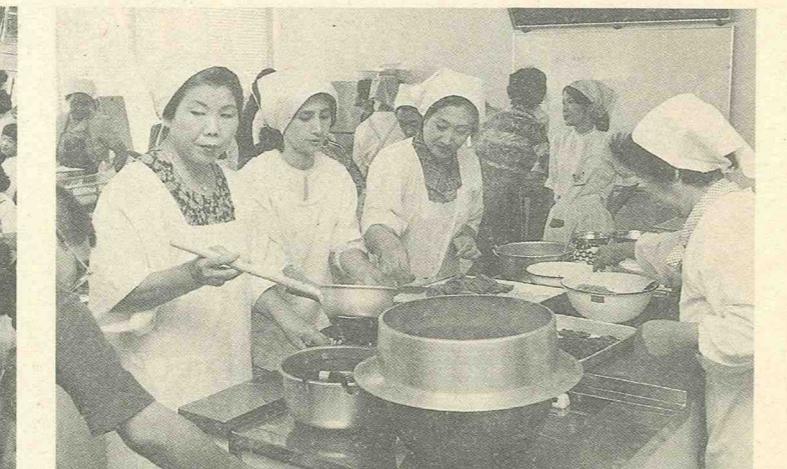
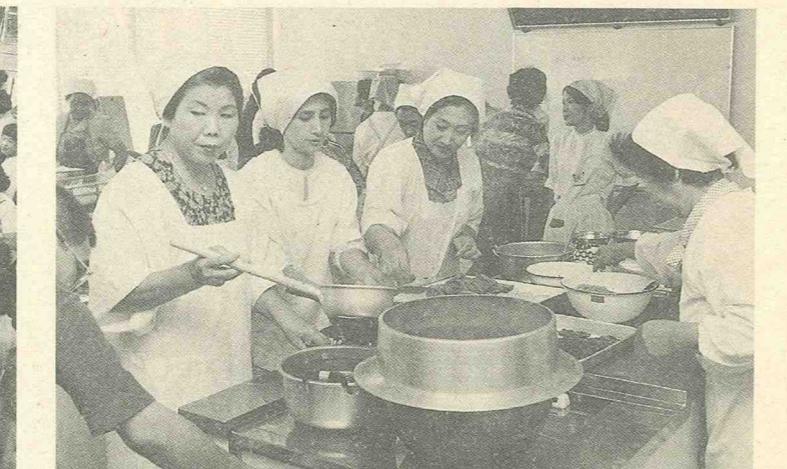
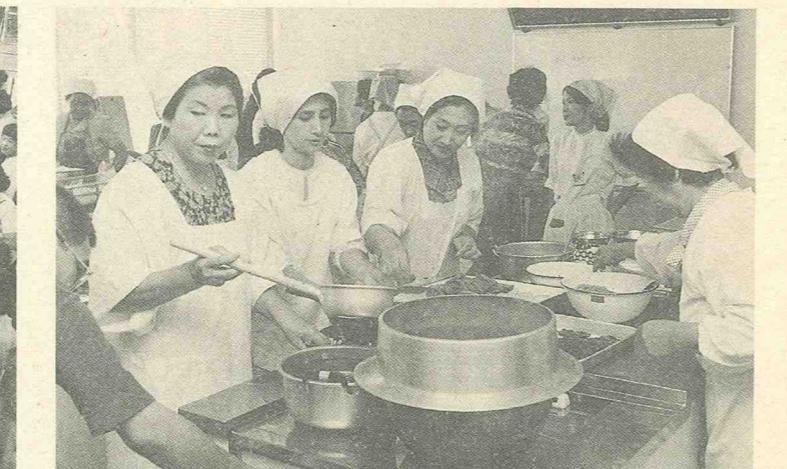
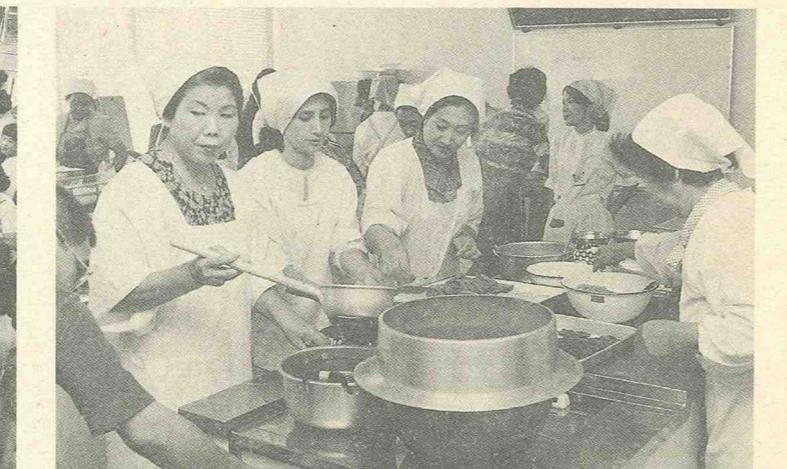
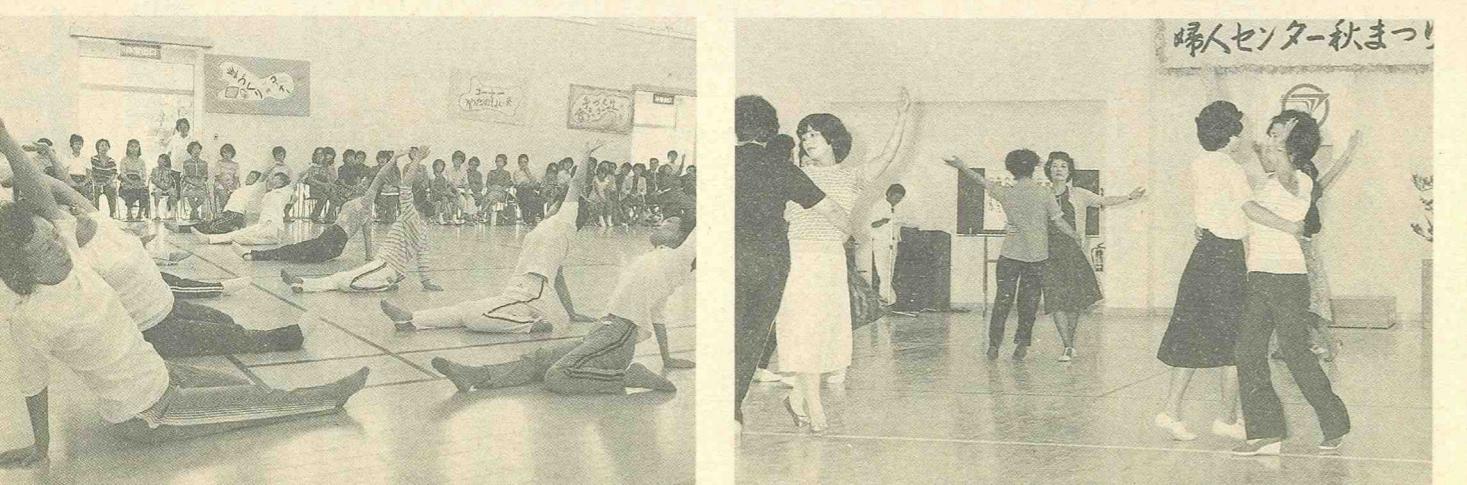
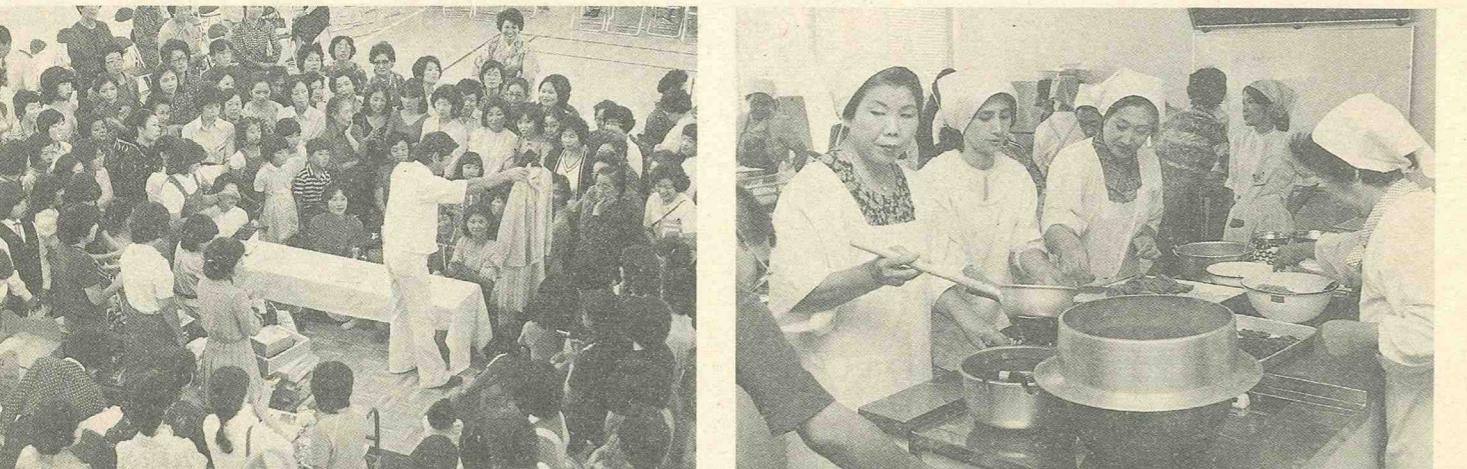
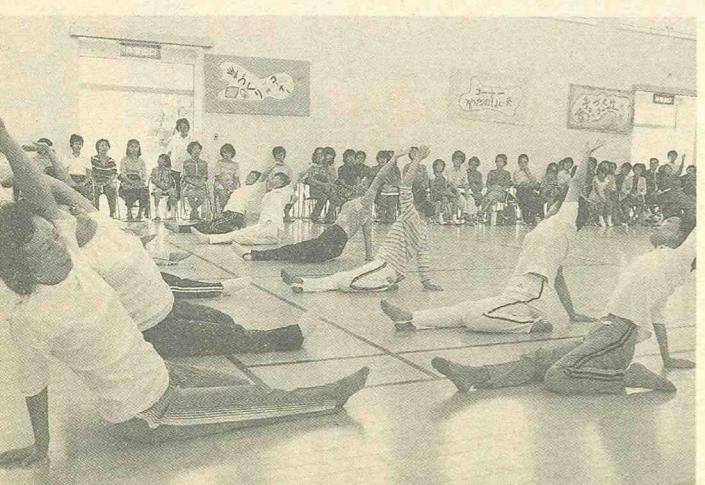
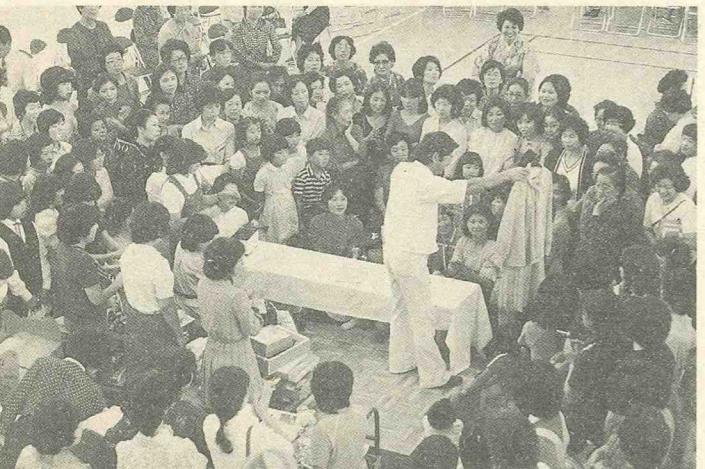
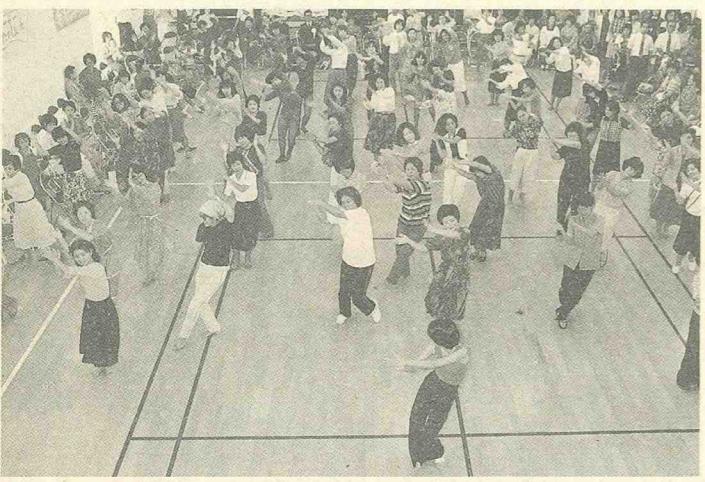
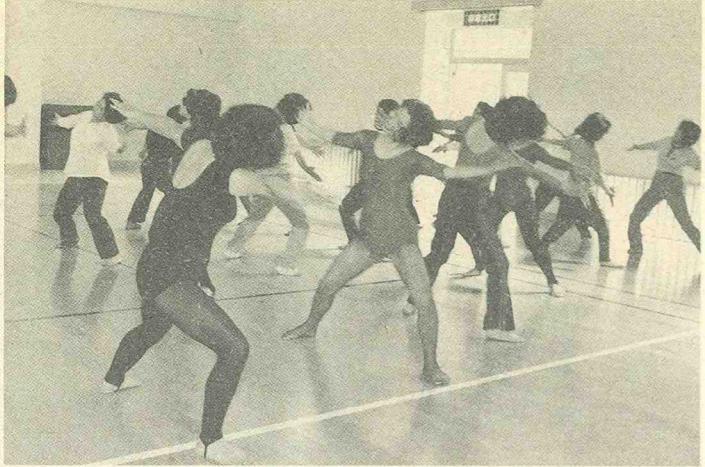
一階には図書室、相談室があり、二階には料理実習室、講習室、和室などもあります。また、専門の指導員がいろいろな婦人問題のご相談に応じています。

婦人まつりは大盛況

十月四日、勤労婦人センターで第一回婦人センター秋まつりが行われました。昨年は講座生だけで成果発表会を行つたのですが、こ

としは開館一周年を記念し、地域の人々にも一緒に楽しんでもらお

ここのほか、茶会やパッチワーキの講習会も行われ、うどんやそばのジュースなどの軽食コーナーも大繁盛。この日一日、婦人センターは詰めかけた大勢の女性の熱気がいっぱいにあふれていました。



人物登場

私で役に立つ」とぞしたらう……。

控えめな言葉遣し 笑顔の応対に
苦難をこえた人の優しさを見た。

ドライバーが車を降りてくるまで、体の不自由な人の運転と判らなかつた。ハンドルを握れば「健常者」と変わらない。身障者だけのカークラブに、仲間の

身代賃者
三三

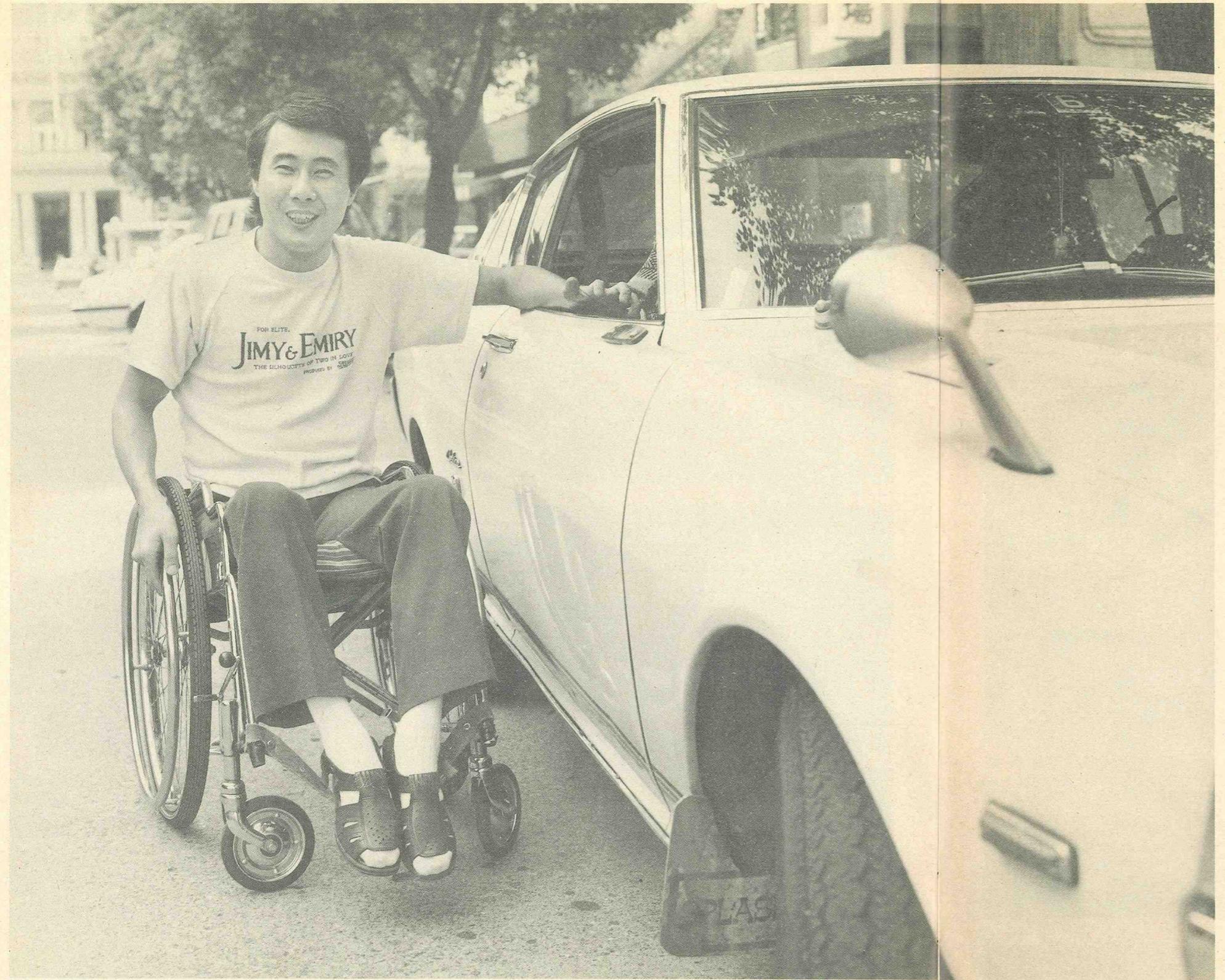
中種子高校三年のとき、バイク事故で足の自由を失う。寝たきりの状態から車いすを操れるまでに機能回復。元看護婦の妻、登美子さんと隣市前で喫茶店“蛮蛮”を営む。鹿児島市千年二丁目住。三十歳。

すに乗り移る。「身障者には常に人の手が必要」という記者の勝手な思い込みは、まず打ち碎かれた。車の免許を取つたのは四十九年五月、東京・新宿の国立身障センターで機能回復訓練を受けていた時。「いずれ仕事につく。その時、免許が絶対必要」という考え方からだ。

者用の運転装置を東京から取り寄せ研究。五十一年六月に念願のマイカーを入手した。今年になって「セーフティークラブ熊本」の存在を知り、「身障者の社会参加の効果的な手段」と、仲間とクラブ作りに乗出し、わずか半年で実現させる行動力を發揮したのは今回に限

く記した「車いすマップ」製作を目的的に進める。今年二月には改定版も出た。五十四年四月から県庁前で喫茶店を開いて自立しているが、人柄だろう、身障者からの情報も多い。「身の回りの相談や、行政の不満がほとんど。代わって注文をつけに行くこともあります」。

クラブ員五十人のうち、約二十人が乗用車を大事な足としてすでに使っている。他の人もできるだけ早く車を持ちたいと頑張つている。「でもねえ」健常者には何でもないことが、車を使う身障者の行にはドアをいっぱいに開かないとい



摄影／三井五男

自立していかなくては。身障者に対する誤解もとけないし、説得力のある主張もできません」。

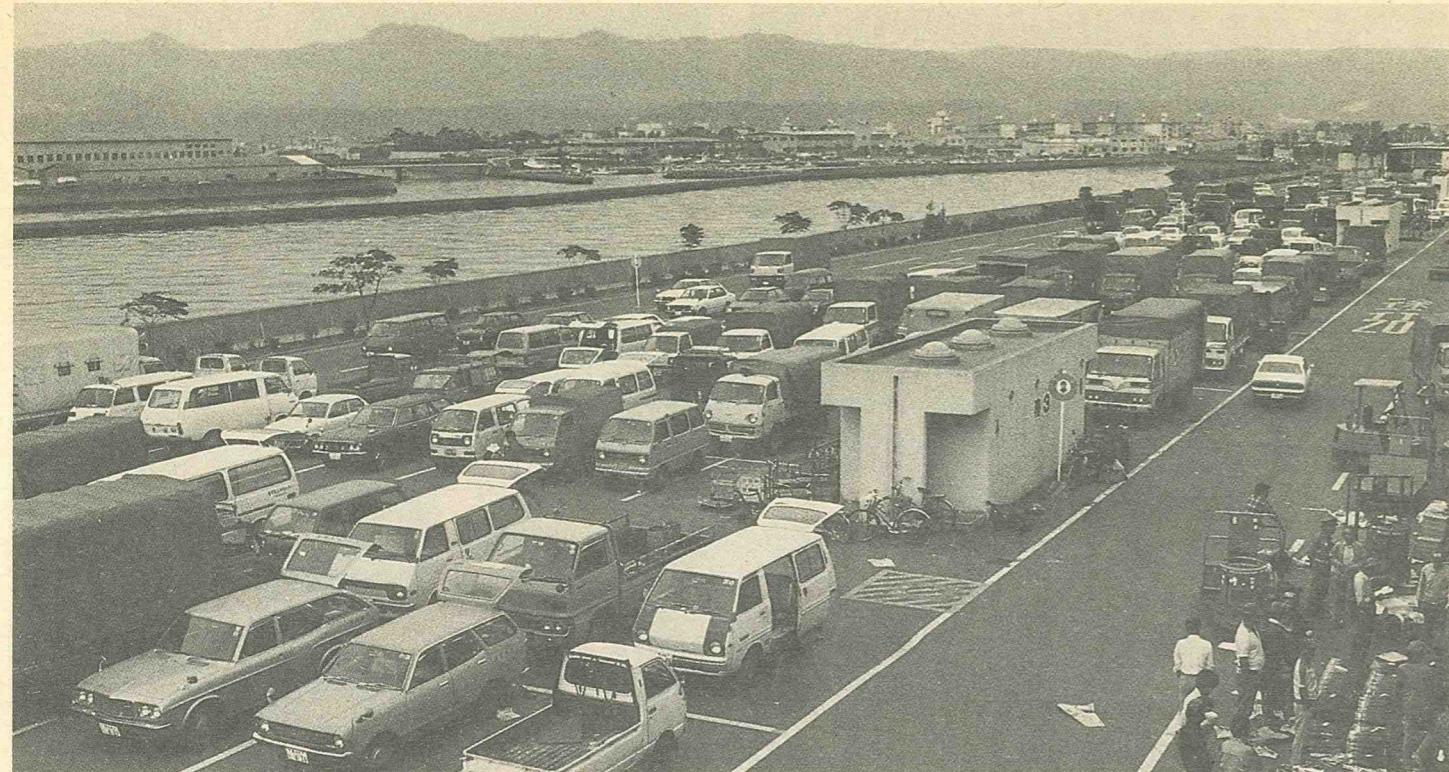
一年間はメンバーがお互いを知り、ゆっくり組織固めをすると言う。「将来は、より重度の仲間を招待してドライブしたいですね」。健常者と重度身障者のかけ橋役になりたい、とも言う。

店は朝七時半から十二時間営業、下ごしらえの時間も入れると寝る時間も少なくなりがち。ハンディ

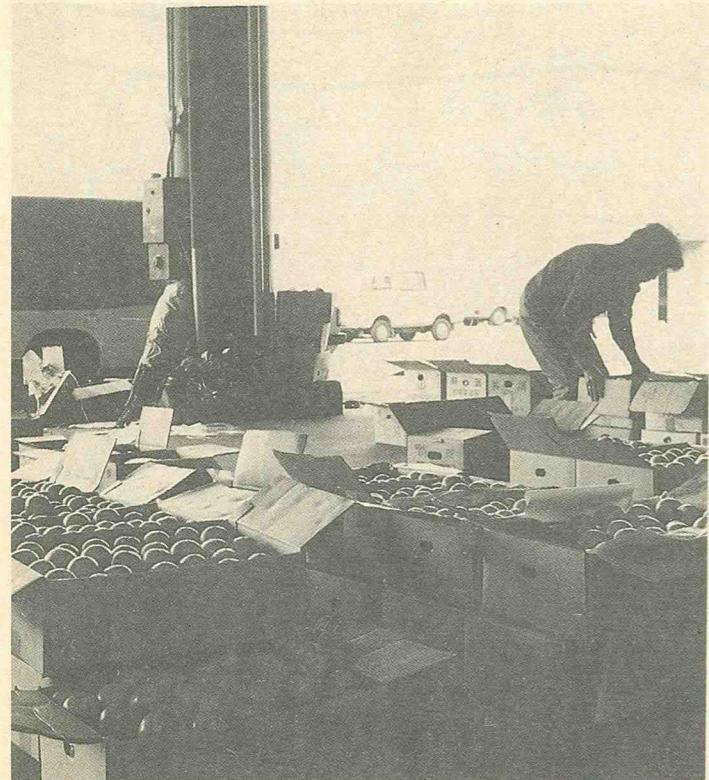
ずだが、終始、笑顔を絶やさない。

文川野正雄

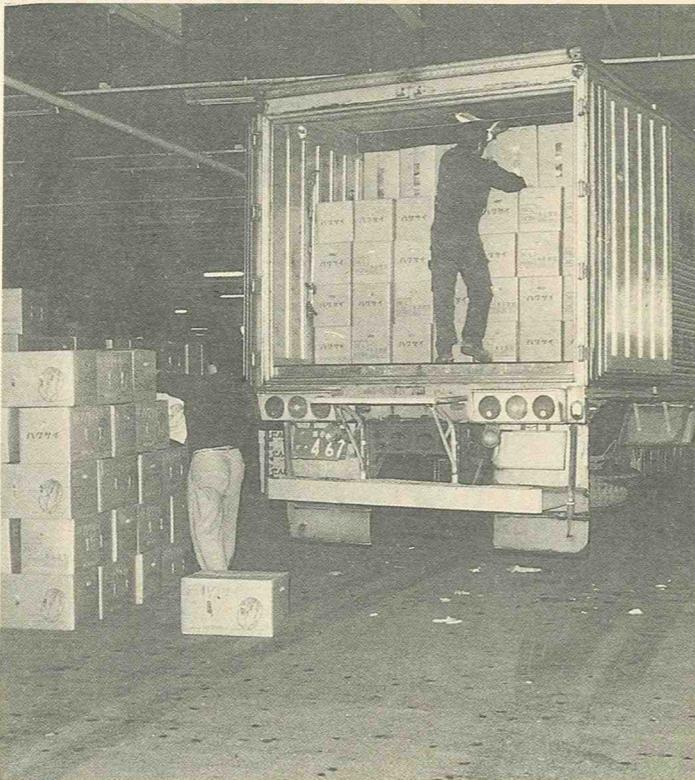
讀壳新聞社記者



朝7時頃には車であふれる



地元の生産者も.....



昼夜過ぎには品物が運び込まれる

日のうちにり島などにトラックや船で運んでいくのだそうです。広いセリ場には、全国の産地や遠くはアメリカなどから送られた野さいが種るい別に山のようにつまれていますが、これが残らず売れるそうです。

アメリカのオレゴン州から輸入された玉ねぎは、ふつう、ぼくたちが食べる玉ねぎとちがって、レモンのような形をしていました。バナナやパイナップルは青いままで輸入して、この市場の加工場でじゅくしてから売るのです。このことをぼくたちは知りませんでした。

次に見学したれいぞうこには、りんごやなしなどのくだもののはこがならべられ、五度から十度ぐらいの温度でほぞんしてあります。

きょう、ぼくたちは市場を見学して、生活を安定させるために、大ぜいの方が一生けんめいはたらいてくださいることを知りました。だから、野さいなどをそまつにしないで、もっと好きになつて、たくさん食べようと思いました。

日のうちにり島などにトラックや船で運んでいくのだそうです。広いセリ場には、全国の産地や遠くはアメリカなどから送られた野さいが種るい別に山のようにつまれていますが、これが残らず売れるそうです。

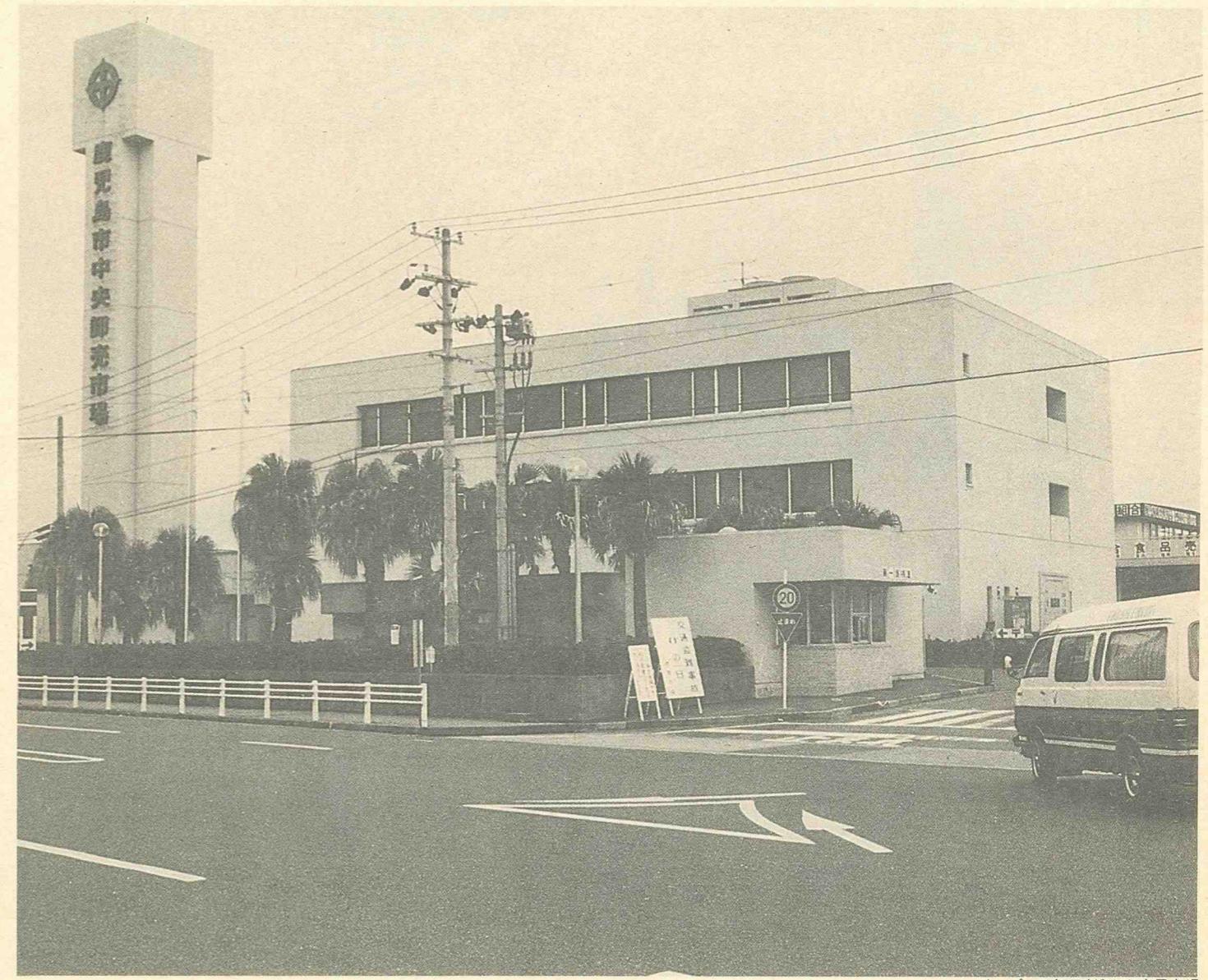
アメリカのオレゴン州から輸入された玉ねぎは、ふつう、ぼくたちが食べる玉ねぎとちがって、レモンのような形をしていました。バナナやパイナップルは青いままで輸入して、この市場の加工場でじゅくしてから売るのです。このことをぼくたちは知りませんでした。

次に見学したれいぞうこには、りんごやなしなどのくだもののはこがならべられ、五度から十度ぐらいの温度でほぞんしてあります。

きょう、ぼくたちは市場を見学して、生活を安定させるために、大ぜいの方が一生けんめいはたらいてくださいることを知りました。だから、野さいなどをそまつにしないで、もっと好きになつて、たくさん食べようと思いました。

ぼくらの施設めぐり 青果市場

文／有川伸一郎・竹下ますみ(谷山小3年)



オープン5年目を迎えた青果市場

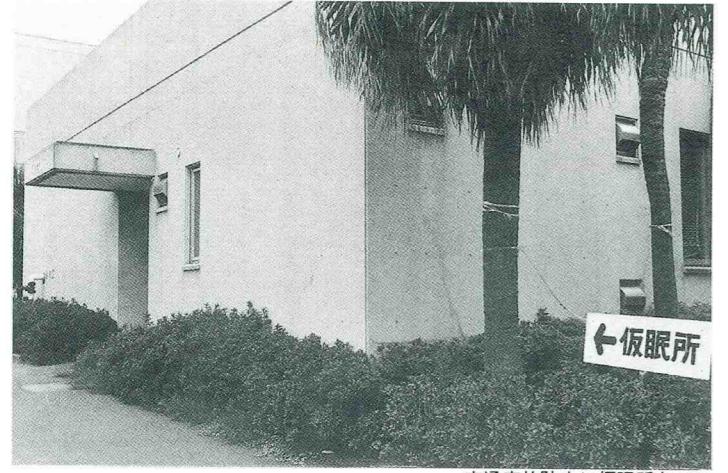
ぼくたちは五十万市民の台所、青果市場を見学しました。一番おどろいたことは、市場がとても大きいことでした。ぼくたちの谷山小より何倍も大きく、駐車場には千四百台の車に入るそうです。すごい広さだなあとthoughtでした。

市場は朝5時に仕事を始め、7時にはセリが始まり、品物はその

ぼくたちは五十万市民の台所、青果市場を見学しました。一番おどろいたことは、市場がとても大きいことでした。ぼくたちの谷山小より何倍も大きく、駐車場には千四百台の車に入るそうです。すごい広さだなあとthoughtでした。

市場は朝5時に仕事を始め、7時にはセリが始まり、品物はその

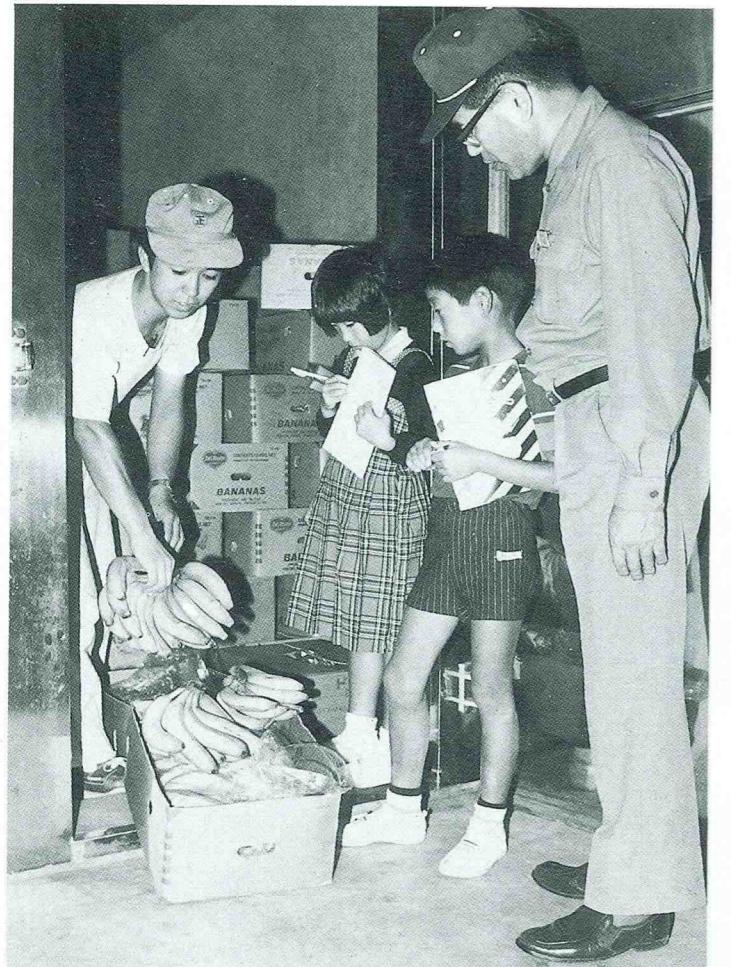
吉富青果市場長に説明を受ける有川君と竹下さん



交通事故防止に仮眠所も……



買い物の品物は次々に運び出される



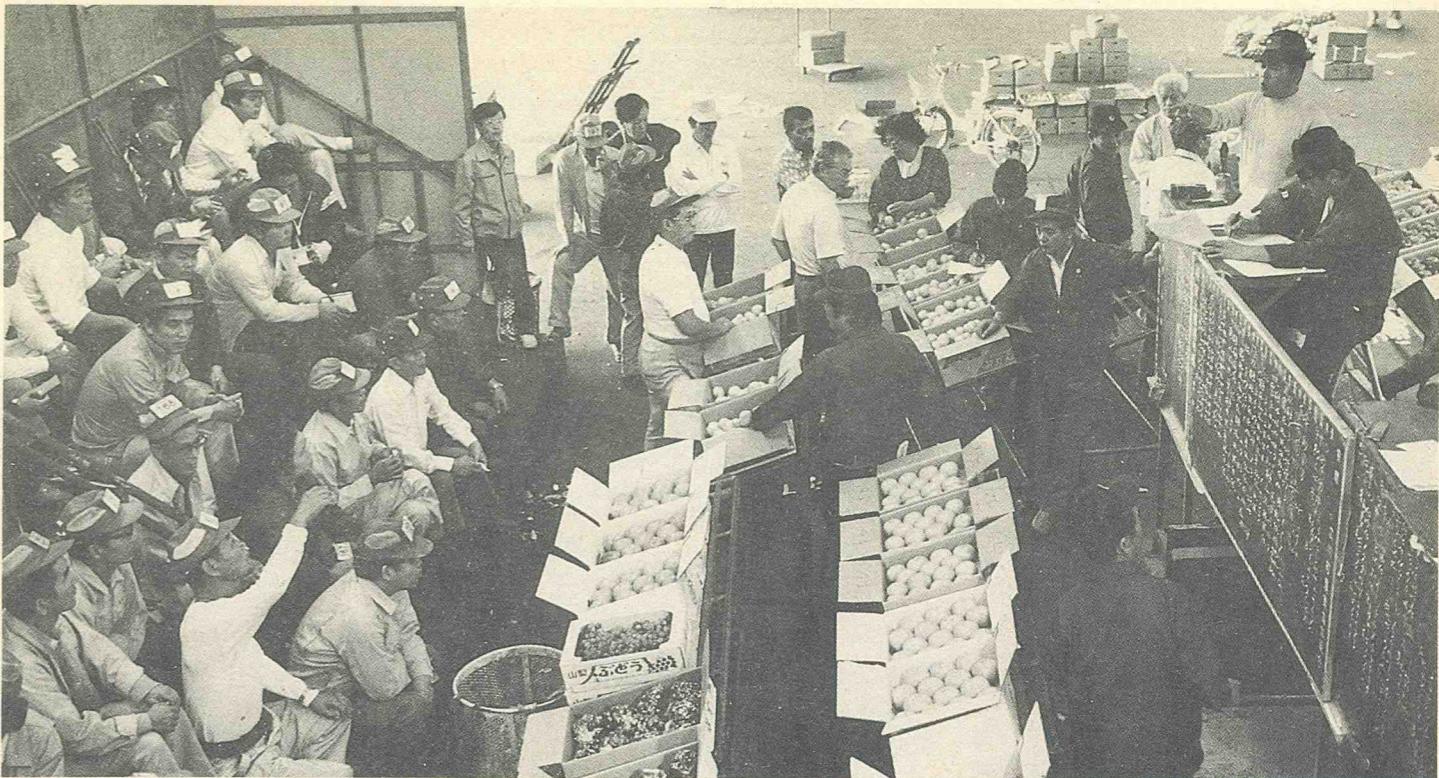
バナナ加工場を見学する有川君と竹下さん、吉富場長



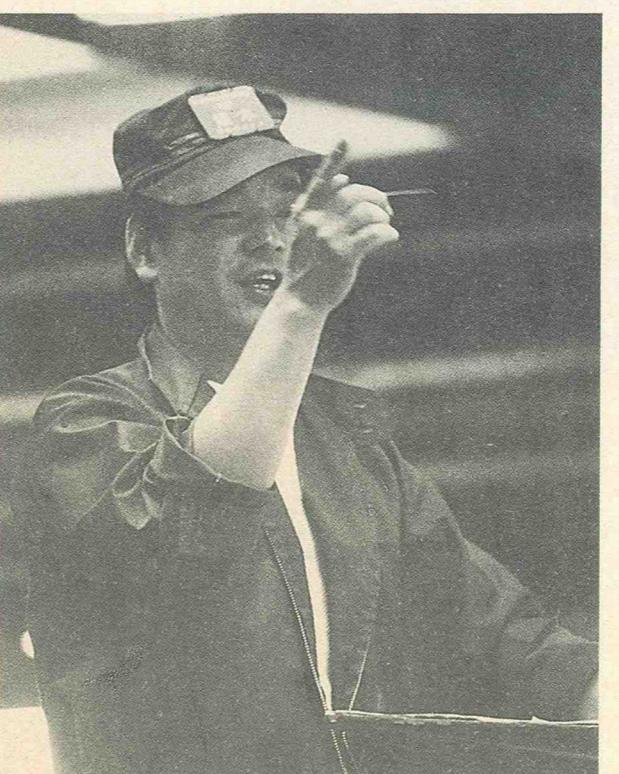
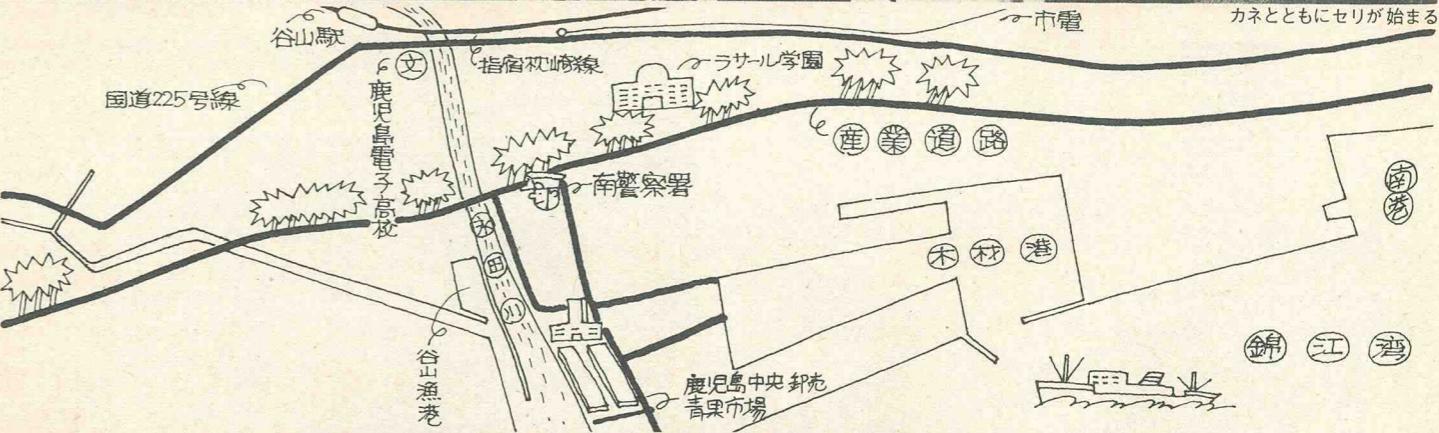
小売業者のために関連商品売場も……



見学で訪れる人も多い



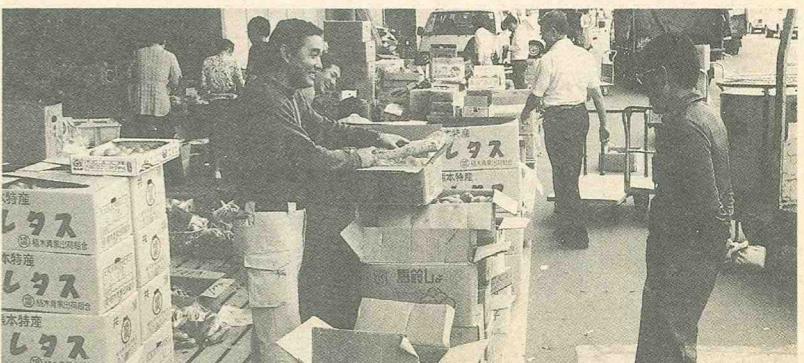
カネとともにセリが始まる



セリ人の独特の声が辺りに……



セリには仲卸業者と売買参加者が参加



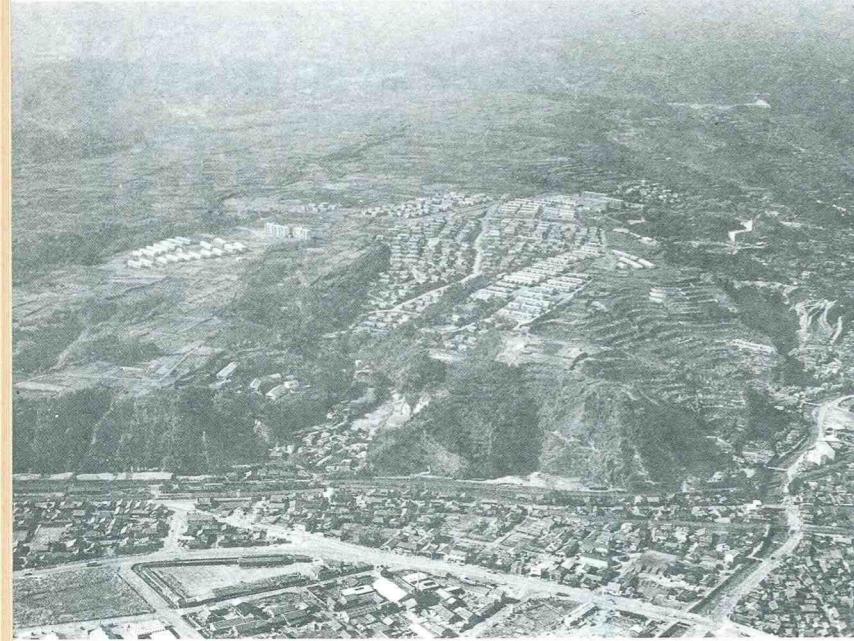
小売業者の買い出しも……

昭和36年

飛んで20年

昭和56年

空から見た街の表情



南郡元・紫原

平地に家を建てたくても地価が高い。自分の土地、家を持ちたいという人たちの夢を乗せて、鹿児島の団地造成の先駆けとなつた紫原台地。

九年の歳月をかけて昭和四十年三月、団地が完成した頃、鹿児島にもマイカー時代がやつて來た。紫原陸橋下の旧谷山街道は、市街地から谷山、指宿への主要道路だった。いま、国道225号と産業道路にその座を譲り、朝夕は車の波が続く。この辺りは、発展する鹿児島の交通の要所である。

撮影／水谷進

市民のひろば



「市民のひろば」は、MBCから放送されます。放送日時は、毎月第三日曜日を除く、日曜日の午前八時から十五分間。ただし、第四曜日は三十分間放送。

広げよう 市民芸能の輪を

私たちの郷土“かごしま”には、今でも人の心をうつ伝統芸能が数多く残っています。この貴重な遺産を保存継承していく意義、また、新しい創造をめざしての苦心などについて語っていただきました。

スタジオには吉野婦人合唱「ひまわり」の歌声も流れ、豊かに実りつのある市民文化にまで話題は広がりました。

出席者(敬称略)

鹿児島市長 山之口 安秀
司会 高島 康子
山田 みほ子
犬迫太鼓踊り保存会 中間 安幸
吉野婦人合唱「ひまわり」 河野 美知子



●市長

「市民芸能祭」も今年で十回目を迎えたんですよ。りっぱに根づいて、市民の方々がふるさとの香り、ふるさとのリズムを年に一回、堪能できるすばらしい催しにあたりながら、試行錯誤の連続です。

ところが、保存されているものの継承ということは、当時、踊られた風土と人々の生活、それに踊られにこめられている心を失わず、現代の命を吹き込むことですから、安易な気持ちではできません。保存されたそのものが一番いいわけで、継承発展というテーマに行きあたりながら、試行錯誤の連続です。

市長 そうですか。しかし、すばらしいご努力だと感銘します。

高島 中間さんは犬迫小学校の五年生に長く犬迫地区に伝わっている太鼓踊りを教えていらっしゃるそうですが、長い間、中断していたものをもう一回伝えることは大変でしょうね。

中間 そうですね。保存会ができるのが昭和四十九年なんですが、後に続くものがいないんです。それで子供たちに……ということになつて、今年の五月から始めたわけなんです。保存会の方々もいろいろ協力してくださいますし、何にもまして、子供たちが熱心ですね。覚えも早いし……。これで何か後世に伝えられるのではないと思います。

市長 市民芸能祭でも熱演だった

なつたと思いますね。

高島 世の中が騒々しくなつてきましましたが、いかがでしたか、市長さん。

われわれは、こういうものを“宝”として大事にすべきだと思います。

「形」として継承することも大切ですが、心を継承していることがすばらしいと思うんですね。

郷土芸能……

市長 郷土芸能は非常に素朴で簡単な歌であつたり、踊りであつたりしますけど、この中には、温かい“ふるさとの心”が流れています。

庶民の哀しみや喜びや希望や……そういうものが全部歌の中にでている。そして、それだけでなく、ロマンとユーモアまで織り込まれている。当時の人々の生きざまをみる思いがすること。世の中が変わつても、郷土芸能に接するたびに新鮮な感動を覚えること。

山田 私は若い頃に“モダン”を志した時、何か一貫したテーマをどうやってきて、これを小学生が継承していくことに踊りこなす、大変すばらしいことですね。

市長 山田さんは、確かに回目から出演していただいていますね。郷土に伝わる“わらべ歌”をモチーフにして、新しいモダンダンスをつくつていかれます。ご苦心も多いと思いますが……。

山田 私は若い頃に“モダン”を志した時、何か一貫したテーマをどうやってきて、これを小学生が継承していくことに踊りこなす、大変すばらしいことですね。



●中間さん

コーラスのひびきに

市民文化の高まりを

高島 今日は吉野婦人合唱「ひまわり」のみなさんにもお越しいただいています。代表の河野さんにグループの紹介などしていただきたいと思います。

河野 始めたのは五、六年前になります。最初は吉野小学校のPTAのお母さんたちでコーラスをやつてみたいという有志の方だった

大正爆発以前、島だった頃、島を一周する船こぎ競争があつたのであります。吉野公民館ができまして

市民芸能祭

河野 始めたのは五、六年前になります。最初は吉野小学校のPTAのお母さんたちでコーラスをやつてみたいという有志の方だった

市長

市長 市民芸能祭でも熱演だった

一周する船こぎ競争があつたのであります。吉野公民館ができまして

市民芸能祭

河野 始めたのは五、六年前になります。最初は吉野小学校のPTAのお母さんたちでコーラスをやつてみたいという有志の方だった

大正爆発以前、島だった頃、島を一周する船こぎ競争があつたのであります。吉野公民館ができまして

市長

市長 市民芸能祭でも熱演だった

一周する船こぎ競争があつたのであります。吉野公民館ができまして

市長

奥様こんにちは

フリー・アナウンサー

石川 豊子さん

「私が休むと代わりがない」と
の精神で病気を跳ねのけ、今まで
寝込んだのは出産の時ぐらい。「元
来、丈夫なの。健康が最大の取り
えね」とさりげなく。言葉の端々に隠さ
れたプロの気迫を感じる。

アナウンサー歴十三年。浅く広
く豊富な知識が必須条件。常にア
ンテナを張り巡らして、新しい情
報を速やかにキャッチしている。

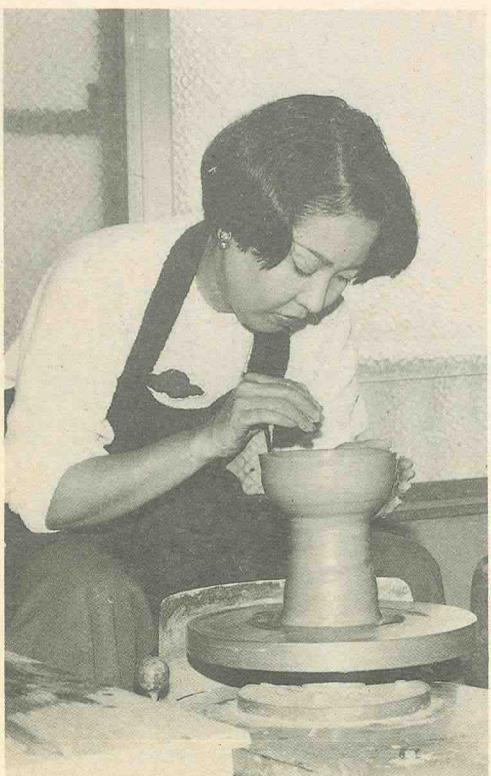
いつも時間との戦い。臨機応変な
対応、スピーディーな頭の回転が
要求される。『女だから……』とい
う観念は毛頭ない。

結婚後は『家庭第一』に仕事を選
択し両立を計っている。『お料理つ
て気分転換。おいしいと言つてくれ
る顔がみたいの』。もちろん、自
分も大の美食家。自他共に認める
大食漢(失礼!)。が、スタイルは
十年前と変わらぬスリムさ。テレ

ビの画面とは大違い。

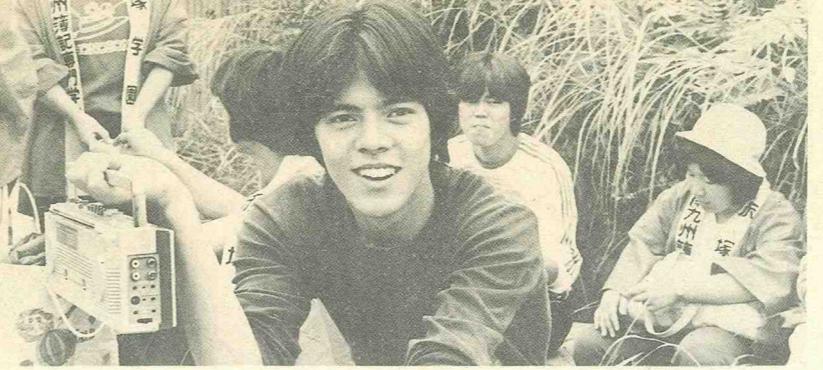
毎日の衣裳も大変。が、そこは

長年のこと、手持ちも充分。『さり
げなく』をおしゃれのポイントに、一
通りの着方でなく、様々な組み合
せたりと、心憎いセンスの持主。
趣味は陶芸。『出来ばえなんて、
まだまだ未熟、もつと時間をかけ
て修業しなきや』と意欲満々。
『部屋の整理整頓苦手なの』と。
才女の弱点に急に親近感を覚えた。
快い笑顔と喋り。この先、より一
層のご活躍を期待します。



あなたの

みさわ



天下分け目の「関ヶ原」で薩摩の勇猛精神を見せた島津義弘公の苦戦をしおび、鹿児島城下から伊集院まで徒步で参拝し、心身を鍛練する「妙円寺詣り」が今年もまた行われた。

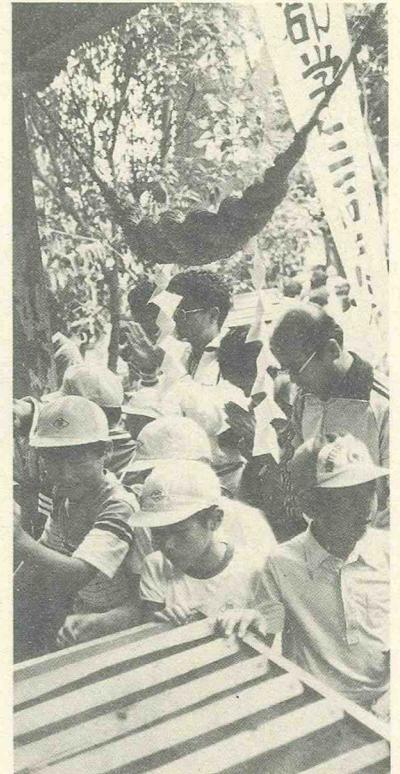
妙円寺は、明治初めの廢仏毀釈で「徳重神社」と名を改めたが、人々は今でも昔ながらにその名を口にする。

秋晴れの山野に、鎧かぶとで身

を固めた若武者たちの行列がどこまでも続く。どこからか、子供たちにせかされながら歩いてくる家族連れの明るい笑い声が聞こえてきた。今夜、彼らはほおを紅潮させ、今日の出来事を語り合うのだろう。そして、心地よい疲れの申眠りに就くにちがいない。

写真と文／鈴山 俊信

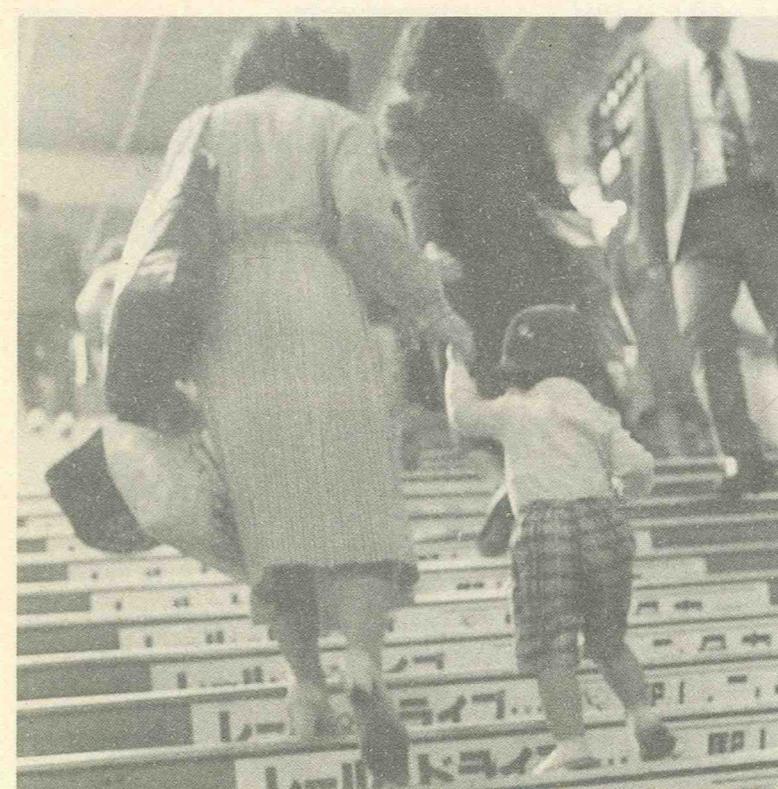
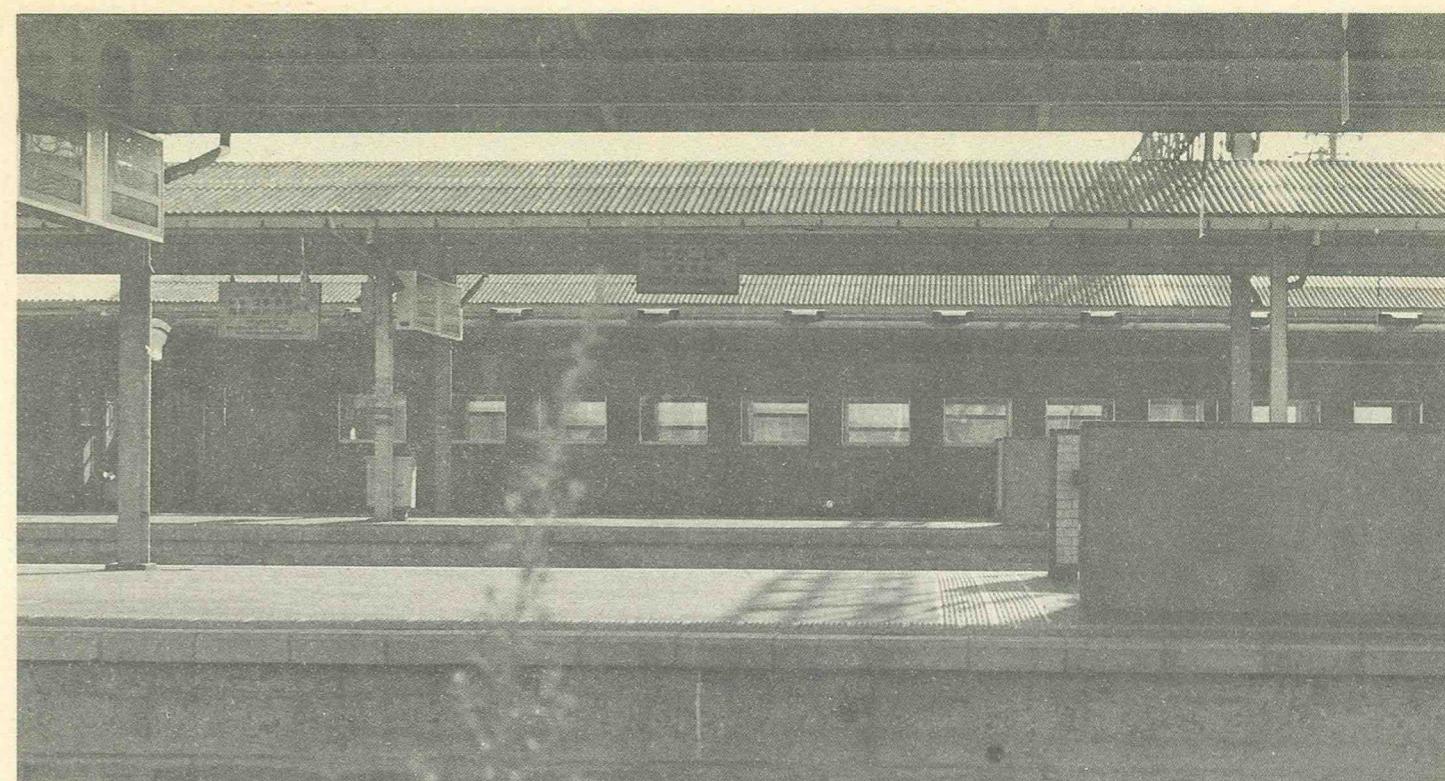
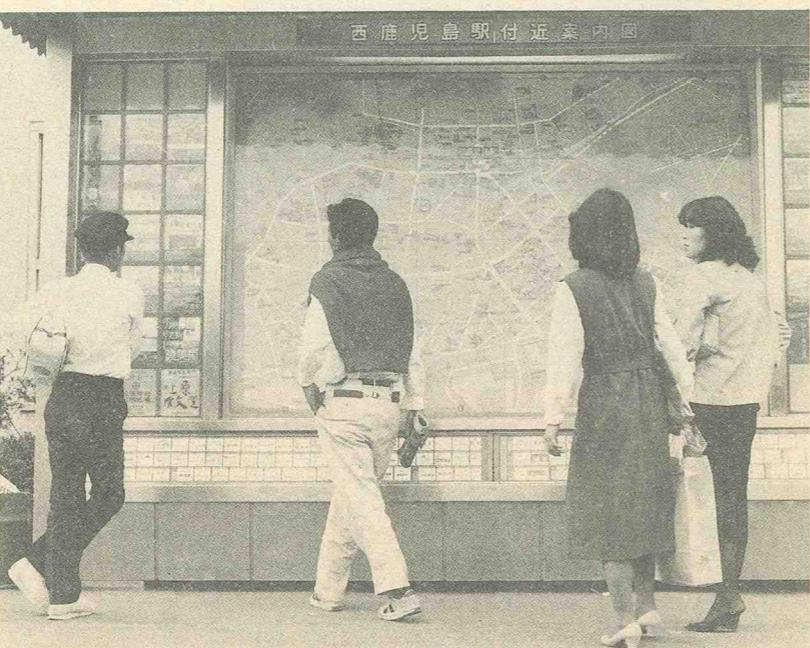
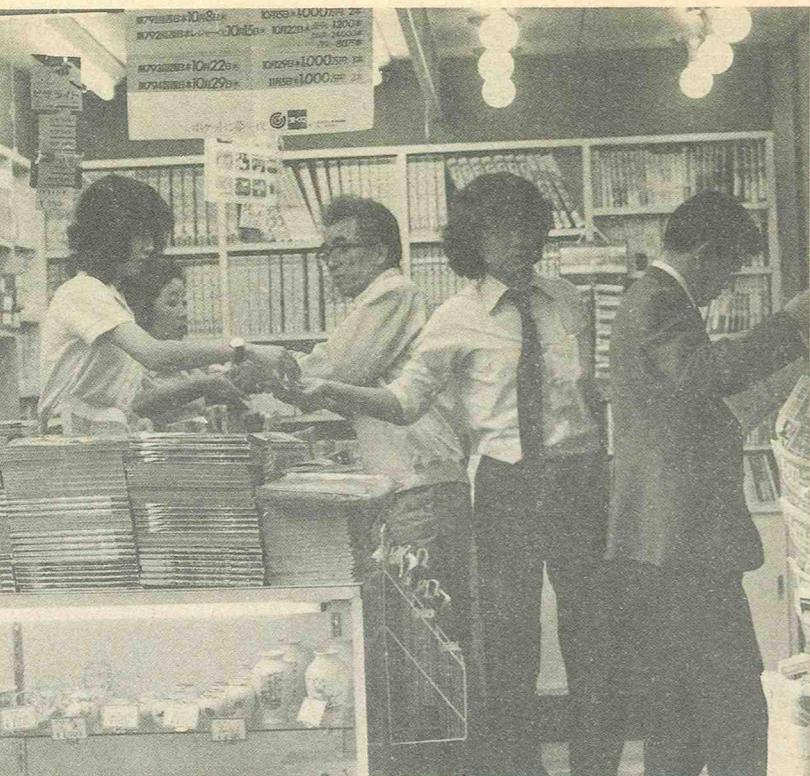
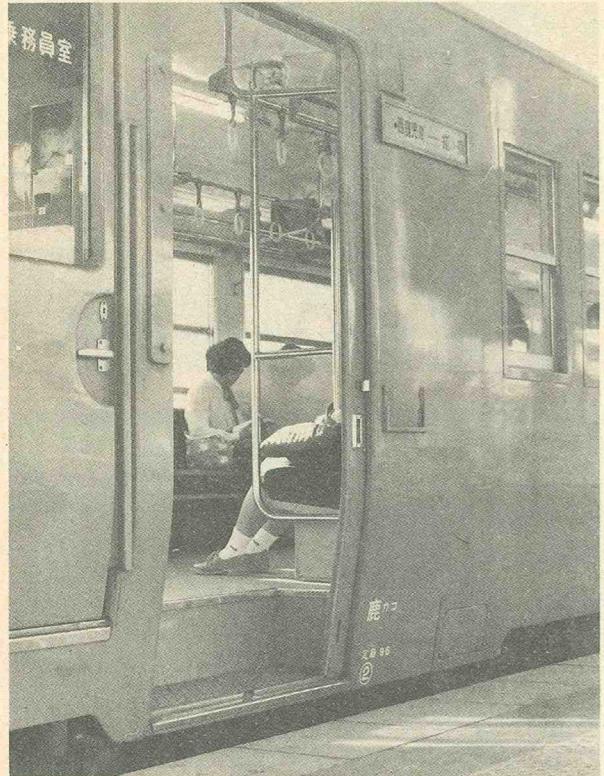
荒田一丁目5-2



妙円寺詣り

あなたの

あなたの みやび



駅のホームに朝日があたる頃、四方八方から集まつた人々の力強い足音がホームをドドッ、ドーッと台風のごとく駆けぬけていった。ラッシュアワーを過ぎると、時刻表の前や駅前にいる人達の動きがのんびりと物憂げに写る。日時計の前で、若者に頼まれて婦人が軽にシャッターを押している。閑散とした駅の構内。遠く操車場の汽笛が聞こえた。

夕方の四時。辺りはざわめきをとりもどし、視界をうめる姿も学生、O.L.、サラリーマン……。さまざまな人間模様が交差する駅。終列車が「おーい、いくぞー!!」と叫んでプラットホームを後にした。

写真と文／福永 淳子

武二丁目22-31

西鹿児島駅

原良団地

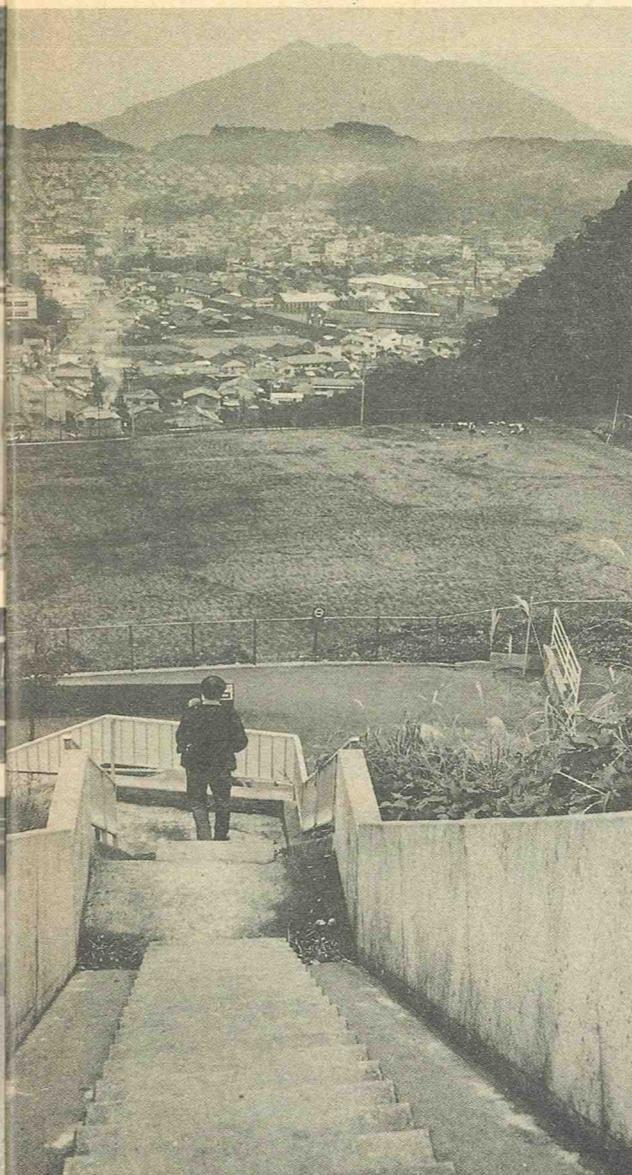
自然に抱かれた
新興団地

鹿児島小型
映画協会会長 佐藤甫



前は天文館のビルの中に住んでいました。それで、ちょうど八年前にこっちへ来たんです。まだその頃は、こちら辺が草っぱらでね、ここは静かだし、それから繁華街に近いでしょう。ここだと十分から十五分で行けるし、交通の便も比較的いいしね。それに高台で、まだ緑が周りに残っている。

歩き回るということは、私にとっては仕事をぬきにして一種のロケハンといった感じでね。よし、ここは一つ8ミリ映像の場面に使えるなとかね、まあ、そういうた意味ではこの環境はいいですね。道端の花をインサートカットに撮つたりしてね。



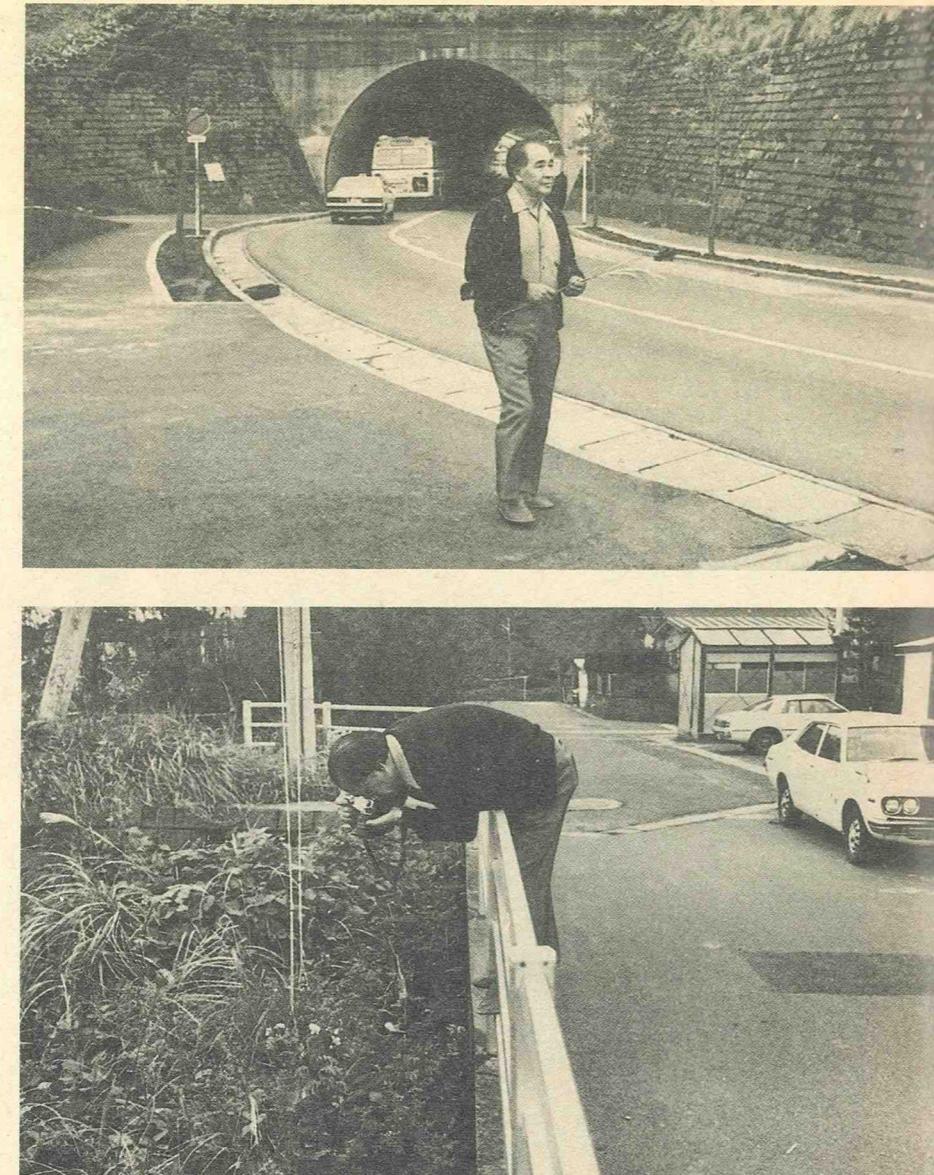
素のトレーニングですね。かけ声がこだまして響いてくると、おお、やつてゐるなつて……。気持ちがいいですよ。

ほら、もう目の前に桜島の全景があり、これからもう向こうの団地もこうやつて見ると、一つの絵ですよ。こういった所でも、新しい意味で絵が描けるんじやないかと、そんな感じがしますね。

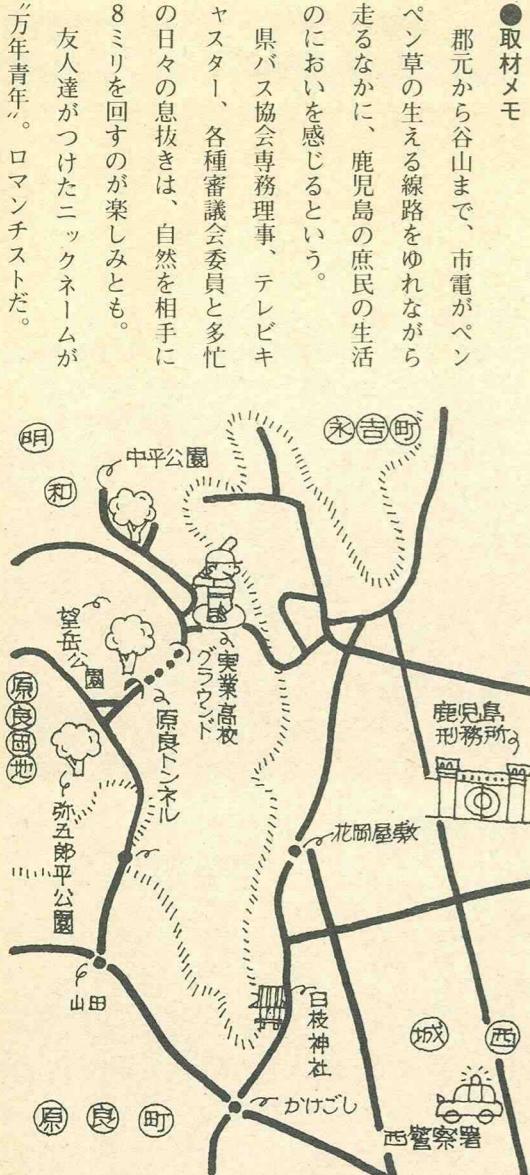
あの下に見えるのが今度、吉松に移る刑務所ですよ。もともと、デザインそのものが洋風な感じですよね。正面の石造りの門もすばらしいですが、こうやつて全体を見ると、何かちよつとこう、周囲の建物と離れた感じがするんですね、しゃれた。

こうやつて時々、もやがかかってくるでしよう。何かこう、鹿児島の街の中では見られないですね。好きですね、私はこういつた風景が、本当に。

ここからよく桜島を8ミリで回りますよ。夕日がきれいですし、七色に膚をえるというのが、ここから見てるとよくわかります。(談)



●取材メモ
郡元から谷山まで、市電がベンパン草の生える線路をゆれながら走るなかに、鹿児島の庶民の生活のにおいを感じるといふ。
県バス協会専務理事、テレビキャスター、各種審議会委員と多忙の日々の息抜きは、自然を相手に友人達がつけたニックネームが“万年青年”。ロマンチストだ。

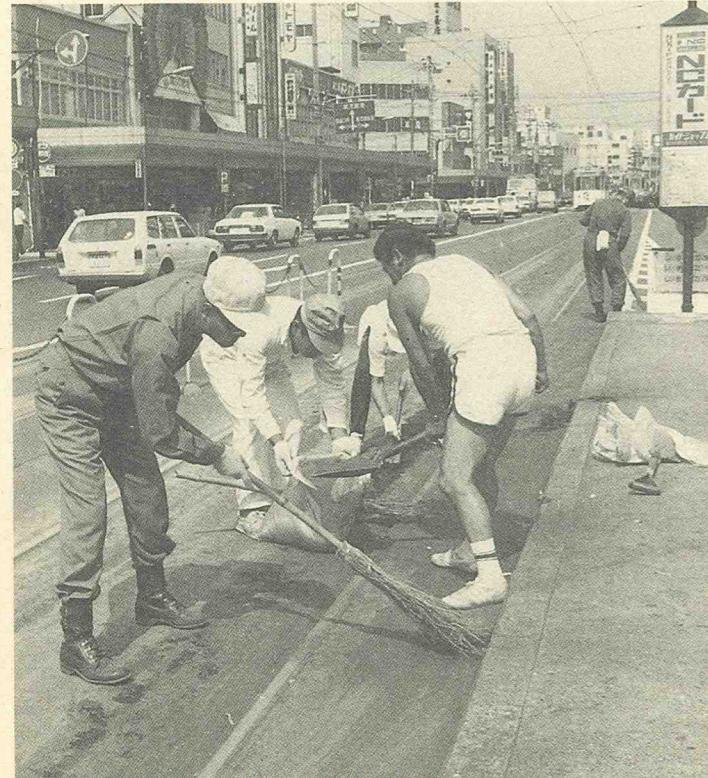
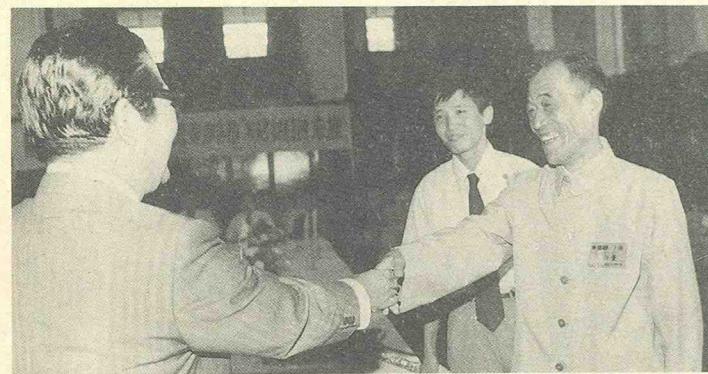


ベンパン草の生える線路をゆれながら走るなかに、鹿児島の庶民の生活のにおいを感じるといふ。
県バス協会専務理事、テレビキャスター、各種審議会委員と多忙の日々の息抜きは、自然を相手に友人達がつけたニックネームが“万年青年”。ロマンチストだ。

わたしの散歩道

8月7日・上海盲人音楽演奏団が市役所を訪問

国際障害者年記念「わたぼうし你好コンサート」に出演のため来鹿していた中国の上海盲人音楽演奏団一行14人が市役所を訪問しました。

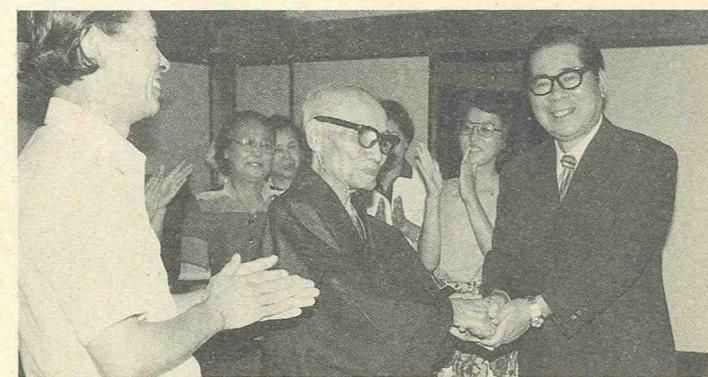


8月24日・交通局職員による降灰の除去作業

8月中旬から降り続いている桜島の灰を取り除こうと、職員80名が出動して線路の大掃除をしました。

8月27日・省エネ太陽灯を設置

代替エネルギーの利用により経費の節減をはかろうと、省エネ太陽灯が県下で初めて市役所玄関前に設置されました。



9月10日・敬老訪問

敬老の日を前に山之口市長が鴨池町の陶芸家・橋本正蔵さん(88歳)を訪問。今なお現役でロクロを回している橋本さんに敬老金と記念品を贈りました。

9月10日・下水道施設の見学会

全国下水道促進デーの10日、施設見学会が行われ、大竜・東谷山地区の婦人学級の主婦、約100名が南部処理場や下水汚泥たい肥化場を見学しました。



9月18日・ブライダルスクール

中央保健所で開かれたブライダルスクールには結婚をまことに控えた若い男女40名が参加、講義を熱心に聞き入っていました。

10月14日・50万市民の消費生活展

暮らしの中に何か1つでもプラスになることがあれば——と名付けられた「50万市民の消費生活展」が丸屋で行われ、大変なぎわいをみせました。



10月23日・フランス、ツールーズ市長表敬訪問

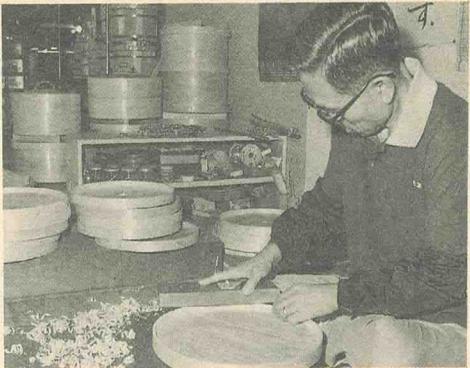
フランス南部の工業都市、フランス、ツールーズ市のピエール・ボウディ市長が山之口市長を表敬訪問しました。

あの店

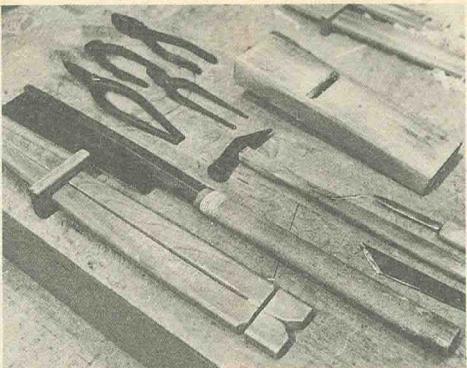
木竹工芸品
手づくりの店

かわさき

金生町



木の良さ、竹の特長が生かされる蒸し器



道具にも年期が.....



創業以来、手づくり一筋



竹製品は「乾燥」が長持ちの秘訣



県外の旅行者も訪れる

最近は、籠やザルを室内インテリアとして買つていく若い女性もいるという。「台所で…」という人は少ないので、竹のよさが見直されてきたことは嬉しいですね」とほろんご主人の笑顔が印象に残った。

鹿児島は竹の産地。ショケ、テゴなど、十数年前までは竹で作った炊事道具が台所にあつた。今では、毎日の炊事にそれを使う家庭は少ない。

「創業七十年余りですかね。昔は

この辺りは魚市場で、祖父が市場に来る人を相手にこの店を始めたんです。今も、この作業場で少しは私が作ります。店内には竹製品がずらり。竹籠の網目が美しい。

鹿児島は竹の産地。ショケ、テゴなど、十数年前までは竹で作った炊事道具が台所にあつた。今では、毎日の炊事にそれを使う家庭は少ない。

「創業七十年余りですかね。昔はこの辺りは魚市場で、祖父が市場に来る人を相手にこの店を始めたんです。今も、この作業場で少しは私が作ります。店内には竹製品がずらり。竹籠の網目が美しい。

鹿児島は竹の産地。ショケ、テゴなど、十数年前までは竹で作った炊事道具が台所にあつた。今では、毎日の炊事にそれを使う家庭は少ない。

▼そろそろ年賀はがきを用意しなくては、とお考えのことと思います。元旦の朝に届いた年賀状を読むのは、何とも楽しいものです。年賀郵便特別扱いは十五日からですが、一足早くといふ心意気で書き始めましょう。

▼この冊子は年四回の発行で、銀行など多くの方にみていただけるところに置いてあります。

今年も、大勢の市民のみなさんにご協力をいたしました。来年もまた、よりよい誌面づくりをと頑張ってまいります。一層のご支援を心からお願ひいたします。皆様、よいお年を。

編集後記

▼「市民フォト鹿児島」第七号をお届けします。

▼師走の寒風が街を吹き抜けていきます。いよいよ、今年もあと一ヶ月でおしまいです。「光陰矢の如し」と言いますが、ほんとうに早いものですね。忙しい時期だけに、お互い気引き締めて、悔いのない歳末を過ごしましょう。

▼そろそろ年賀はがきを用意しなくては、とお考えのことと思

う心意気で書き始めましょう。



市立美術館

熱砂の想

帖 佐 美 行

（作者）大正四年（一九一五）、鹿児島県宮之城町に生まれる。本名良行。昭和十七年第五回新文展初入選、昭和二十九年第五回、翌年第十一回日展に連続特選、昭和三十二年同展審査員となり、金工（彫金）の第一人者としての地位を固めた。現在、日展常務理事、光風会常務理事、日本金工作家協会会長、日本新工芸家連盟代表委員などを務め、また、郷土美術の振興にも尽力を惜しまない。

（解説）この作家は、日本の彫金が特色とする精緻な細工を得意とするが、近年、制作目標を現代と金属造形とのつながりにおき、鍛金の技法を併用して、ここに掲げた「熱砂の想」（昭和五十年作）のような装飾パネルの作品を手がける一方、今年の鹿児島日展出品作「公慶」のようなほほえましくも、気品をたたえる洒落た容器類の制作にも精を出している。



市立美術館
館長 四 藏 典 夫



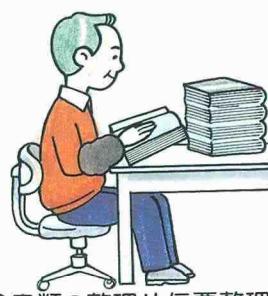
「熱砂の想」は、縦八十粁、横七十粁位の銅板を素地とし、中央に砂漠の中の抱き合つたようなサボテンの花を打ち出し、上部に六羽の鳥を配した幻想的な図柄で、全面にかけられた白銀色の仕上げが鳥のまわりの緑青色で一段とひきしめられ、見る人をさまざまな想いにひき込む不思議な魅力を感じさせる。作家のロマンが色濃くじみ出している佳作。

シルバーセンターって知っていますか。

外出したいが頼む人がいない 筆字を書いてもらいたいが…
そんなあなた！ご利用ください！



●封書やはがきの宛名書き
証書の毛筆など



●書類の整理や伝票整理、
集計事務など



●留守番や子守、家事補助など



●植木や盆栽、庭の手入れなど



●簡単な大工仕事や修理など



●集金、得意先回り、
人との折衝など



●造花、ラベル張りなど

鹿児島市シルバー人材センター ☎524661～2

温かい手を差し伸べて

人の心の温かさ

あなたの善意の灯を

恵まれない人々のために

12月1日～31日
歳末たすけあい運動

